

# 年報

No. 26



平成 7 年度  
佐賀県立博物館  
佐賀県立美術館

## はじめに

この度、博物館・美術館の平成7年度の事業概要をまとめた、「年報No26」を刊行することになりました。

特に博物館は、昭和45年10月に開館してから昨年で25周年を迎えることができました。丁度四分の一世紀を経過したわけですが、併せて開館以来300万人の入場者を数えるに至りました。これもひとえに、関係者のご指導・ご協力はもとより、博物館を物心両面からご支援いただきました関係者をはじめ、県民の皆様のおかげと心から感謝申し上げます。

当博物館・美術館は、「私たち郷土の文化の殿堂として、高度な文化を紹介し、県民の教育・学術・文化の向上に寄与する」ことを目標といたしておりますが、先ず、常設展として「佐賀県の歴史と文化」を常時展示すると共に、博物館開館25周年を記念した秋の企画展として、「知られざるふるさとの自然史一大集合！佐賀平野と有明海の生きものたちー」を開催いたしました。この企画展は、特に小学校・中学校の生徒にたいへん好評で、会期中13,300人の入館者がありました。また、美術館の企画展としては、「昭和を見るー九州の伝統工芸と第30回記念西部工芸展ー」を開催いたしました。「西部工芸展」は、佐賀県内においては初めての開催で、今日に伝承されている九州の伝統工芸の優れた芸術性を紹介することができたと思います。

その他、展示活動ではテーマを定めた常設特別展として「没後90年・副島種臣の晩」、「戦争と美術」及び「日本近代洋画の裸体像」を、また「平成6年度新収蔵品展」をはじめ「美術館所蔵名品巡回展」を、祐徳博物館と県立名護屋城博物館で実施いたしました。また、これまでの常設展を抜本的に見直し、平成8年度からのオープンに備えて、今日までの「分野別展示」から「通史展示」へと展示の更新をする準備に取りかかりました。考古・歴史・美術・工芸の個々に独立した分野別展示であったものを、近代絵画や工芸資料及び民俗資料をも組みこんだ通史展示とするものであります。

更に、博物館が開館以来25年を経過したということもあって、館内の機器の更新や照明器具の取り替え、展示室の床の張り替え、壁面の塗装、エレベーターの新設等、大々的な改修工事を実施しました。

このように、平成7年度はソフト面・ハード面それぞれこれまでにない大がかりな事業内容となりましたが、何れにしても博物館・美術館は文化の拠点としてはもとより、生涯学習施設としても今後更に充実していく必要があると、25周年を迎え、認識を新たにしているところです。

特に、豊かな心を持つ人間を育てるという意味で、今後、博物館・美術館と学校教育の連携、即ち、「学博連携」の充実強化を一層進めてゆきたいと考えております。

今後とも、関係者のご指導をいただきながら、心に残る、感動していただける各種展示を心がけて、より一層親しみのある、そして魅力ある博物館・美術館となるように努力している所存です。

皆様のご協力・ご支援をよろしくお願ひいたします。

平成8年7月31日

佐賀県立博物館 館長 深川弘一  
佐賀県立美術館

## 目 次

佐賀県立博物館及び美術館日誌	4
同組織／職員名簿／人事異動	6
同協議会委員	7

### 佐賀県立博物館

博物館の沿革	9
規模および施設／歳出予算	10
博物館・美術館改修工事	11
事業の実施状況	
1 常設展	12
2 企画展	20
3 資料調査	21
4 観覧状況	22
5 普及活動	24
資料の概要	
1 購入資料	26
2 寄贈資料	27
3 寄託資料	28
4 資料の貸出状況	29
5 購入図書	29
茶室「清恵庵」の管理と運営の概要	30

### 佐賀県立美術館

美術館の沿革	31
規模および施設／歳出予算	32
事業の実施状況	
1 常設展	33
2 所蔵名品巡回展	37
3 企画展	38
4 普及活動	39
5 資料調査	39
6 観覧状況	40
7 ホール・画廊・研修室利用状況	48
資料の概要	
1 新収蔵（購入・寄贈）資料	49
2 寄託資料	53
3 資料の貸出状況	53
4 購入図書	53
博物館・美術館職員名簿	54

## 佐賀県立博物館および佐賀県立美術館日誌

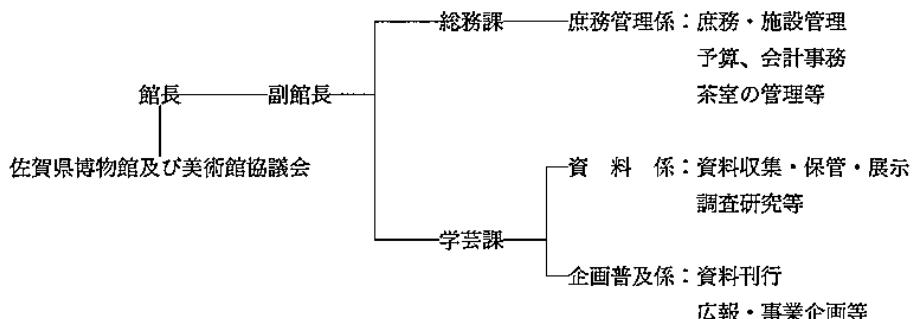
平成7年

- 4月1日 職員人事異動  
〃 平成7年度博物館第1期常設展（～5月14日）  
〃 平成7年度美術館第1期常設展（～4月16日）  
5月3日 平成7年度美術館第2期常設展（～6月4日）  
5月5日 常設展無料開放（子どもの日）入館者数：博物館429名、美術館463名  
5月16日 全羅南道公務員一行来館  
平成7年度佐賀県博物館協会第1回理事会 於：佐賀県立博物館  
5月19日 平成7年度博物館第2期常設展（～7月9日）  
5月22日 平成7年度佐賀県博物館協会総会 於：はがくれ荘（佐賀市）  
5月23日 全羅南道公務員一行来館  
5月25日 中国連雲港市訪日団来館  
6月24日 柚比本村遺跡速報展示（～7月2日）  
7月4日 博物館実習開講（～7月14日）受講者20名  
7月7日 平成7年度美術館第3期常設展（～7月30日）  
7月8日 ジャマイカ特命全権大使アール・アレクサンダー・カー氏来館  
7月14日 平成7年度博物館第3期常設展（～8月27日）  
7月17日 美術館実技講座デッサン教室開講（～7月21日）受講者32名  
7月19日 第1回博物館・美術館協議会  
8月4日 美術館企画展「昭和をみる—九州の伝統工芸と第30回記念西部工芸展—」開場式（8月5日～8月27日）  
8月5日 美術館企画展記念講演会「九州の伝統工芸を斬る」（美術評論家 乾由明氏）聴講者100名  
8月5日～6日 親と子の映画会。入館者数：551名  
8月6日 美術館企画展列品解説（江口勝美氏）  
8月17日 国際陶芸アカデミー事務局長クールリー氏来館  
8月19日 美術館企画展列品解説（白木光虎氏）  
8月20日 美術館企画展列品解説（井上萬二氏）  
8月26日 美術館企画展列品解説（中村信喬氏）  
8月27日 美術館企画展列品解説（鈴田滋人氏）  
8月28日～29日 平成7年度佐賀県博物館協会臨時総会並びに研修会 於：古代の森会館（唐津市）  
9月7日 ホノルル美術館長ジョージ・エリス氏来館  
9月9日 第45回佐賀県美術展覧会（～9月17日）  
9月29日 博物館開館25周年記念企画展「知られざるふるさとの自然史一大集合！佐賀平野と有明海の生きものたち—」開場式（～11月5日）  
10月8日 博物館企画展記念講演会「農業が自然環境をつくる」（福岡県農業改良普及員 宇根豊氏）  
〃 博物館企画展記念講演会「佐賀平野の人と生き物たち」（博物館学芸員 中原正登）  
10月12日 観覧者300万人達成記念式典  
10月22日 博物館企画展記念講演会「知られざる有明海の生き物たち」（長崎大学教授 田北徹氏）  
10月27日 美術館所蔵品巡回展「秋の美術館」開場式（～11月12日） 於：祐徳博物館  
11月9日 博物館収蔵庫燻蒸消毒（～12日まで）  
12月13日 平成8年度展覧会日程調整会議  
12月28日 執務納め式

平成 8 年

- 1月 2 日 平成 7 年度博物館第 4 期常設展（～1月 15 日）
- 1月 2 日～3 日 常設展正月無料開放。入館者数 1,111 名
- 1月 4 日 執務始め式
- 1月 15 日 常設展無料開放（成人の日）入館者数 256 名
- 1月 29 日 防災学習会
- 2月 1 日 美術館所蔵品巡回展「冬の美術館」開場式（～3月 3 日） 於：佐賀県立名護屋城博物館
- 2月 8 日 第 2 回博物館・美術館協議会
- 2月 17 日 平成 7 年度美術館第 4 期常設展（～3月 24 日）
- 3月 16 日 博物館・美術館講座「フランス近代絵画の流れ」（九州芸術工科大学助教授 米村典子氏）受講者 120 名
- 3月 17 日 博物館・美術館講座「世界のやきもの—2万年の流れ」受講者 60 名
- 3月 29 日 第 18 回日展開場（～4月 21 日）

## 組 織



## 博物館・美術館職員名簿(平成7年4月1日現在)

課名	職名	氏名	課名	職名	氏名
総務課	館長	深川 弘一	学芸課	学芸課長	中牟田 賢治
	副館長	森 醇一朗		資料係長(学芸員)	蒲原 宏行
	総務課長(庶務管理係長事務取扱)	大園 進		主査(学芸員)	福井 尚寿
	専門員	一丸 正美		主事	中原 正登
	庶務管理係	主査		主事(学芸員)	山崎 和文
		古賀 夕ミ子		非常勤嘱託	今川 泰靖
		主事		企画普及係長(学芸員)	松本 誠一
		技術員		主査(学芸員)	宇治 章
		事務員		主査(学芸員)	川副 義敦
	事務員	坂井 卓次		主事(学芸員)	竹下 正博
	非常勤嘱託	小石 武彦	計 21名		

## 人事異動(平成7年4月1日現在)

転入			転出		
館長	深川 弘一	教育次長より	館長	山本 敏秋	退職
総務課長	大園 進	佐賀コロニー管理課長より	総務課長	菊池 文夫	図書館 総務課長へ
主査	古賀 夕ミ子	植物病害虫防除所主査より	主事	赤星 由季子	多久職業能力開発校へ
主査	宇治 章	九州陶磁文化館主査より	主査	宮原 香苗	九州陶磁文化館へ

## 佐賀県博物館及び美術館協議会

委員名簿（定数 14名）

(任期：平成 6 年 7 月 25 日～平成 8 年 7 月 24 日)

区分	氏 名	役 職 員	住 所
学校教育 関係者	松 本 正 光	県立佐賀東高等学校長	〒840 佐賀市兵庫町大字渕2194
	藤 原 徹 也	県小中学校校長会理事	〒840 佐賀市兵庫町大字渕228-12
	副 島 真一郎	県理科教育振興会理事長	〒840 佐賀市本庄町大字本庄1098
社会教育 関係者	成 富 重 行	県公民館連合会副会長	〒840 佐賀市昭栄町3-4
	松 本 シゲノ	県地域婦人連絡協議会会长	〒840 佐賀市嘉瀬元町2078
学 識 経 験 者	大 塚 巍	県文化団体協議会会长	〒840 佐賀市本庄町大字本庄1137-23
	宮 尾 正 隆	佐賀美術協会理事長	〒840 佐賀市末広町1-11-20
	富 崎 一 巳	佐賀県議会議員	〒840 佐賀市鍋島町2-14-12
	中 村 賢	九州大学文学部教授	〒813 福岡市東区美和台7-17-8
	深 川 善 次	佐賀美術協会理事	〒840-22 佐賀郡川副町大字南里557-3
	米 倉 利 昭	長崎純心大学人文学部教授	〒840 佐賀市赤松町7-17-302
	佐 田 茂	佐賀大学教育学部教授	〒815 福岡市南区高宮2-9-27-303
	志 佐 悅 彦	巣木町教育委員会文化財研究員	〒849-31 東松浦郡巣木町巣木236-1
	吉 野 徳 親	佐賀新聞社編集局長	〒840 佐賀市大財4-4-3

## 開催状況

(第1回)

・平成 7 年 7 月 19 日(火)、於：県立博物館 応接室

- 議 題 (1) 平成 7 年度予算について  
 (2) 平成 7 年度の重点事業について  
 (3) 博物館、美術館の入館者について  
 (4) 工事関係について  
 (5) その他

(第2回)

・平成 8 年 2 月 8 日(火) 於：佐賀県互助会館

- 議 題 (1) 平成 7 年度主要事業の報告  
 (2) 平成 8 年度主要事業について  
 (3) 平成 7 年度博物館、美術館入館者状況  
 (4) その他

平成 7 年度

佐賀県立博物館

## 博物館の沿革

- 昭和26年4月1日 佐賀県文化館設置条例制定、佐賀県文化館が設置される。
- 昭和35年4月1日 佐賀県文化館設置条例を博物館登録のため改正。博物館法第10条に基づき佐賀県文化館を博物館として登録する。
- 昭和36年、新博物館建設の気運が高まり、41年度に調査費計上。
- 明治百年記念事業として県立博物館を建設することになり、佐賀大学教育学部跡を敷地に選定、昭和43年度に設計を委託し建設計画に着手し、昭和43年度から昭和45年度にわたる継続事業として建設することとなる。
- 昭和44年1月21日 佐賀県博物館建設整備事業委員会を設置。
- 昭和45年3月31日 佐賀県文化館設置条例廃止。
- 昭和45年4月1日 佐賀県博物館設置条例公布。佐賀県立博物館協議会条例公布。佐賀県教育庁博物館開設準備事務局設置。
- 昭和45年7月1日 佐賀県立博物館完工。佐賀県立博物館設置条例施行。博物館開設準備事務局廃止。
- 佐賀県立博物館協議会条例施行。
- 佐賀県立博物館開館記念式典挙行。
- 昭和45年10月14日 茶室「消恵庵」を、市村清氏のご遺志により市村幸恵夫人から寄贈を受ける。
- 昭和48年10月10日 茶室落成式。
- 昭和50年9月20日 古賀忠雄作「岬の男」(ブロンズ)前庭に据付完成。
- 昭和51年9月18日 皇太子殿下、同妃殿下「柿右衛門名品展」ご観覧のためご来館。
- 昭和51年10月22日 天皇陛下、皇后陛下「若楠国体芸術展」ご観覧のため来館。
- 昭和52年12月12日 佐賀藩鋳造鉄製「カノン砲」(復元)玄関前据付完了。
- 昭和53年5月4日 常陸宮殿下、同妃殿下常設展「佐賀県の歴史と文化展」ご観覧。
- 昭和53年11月5日 茶室「消恵庵」開室5周年記念合同茶会開催。出席者約1,500名。
- 昭和54年7月19日 入館者数100万人に達する。
- 昭和55年4月23日 古賀忠雄氏遺作(232点)遺族より寄贈。
- 昭和56年4月17日 山口猛彦氏遺作(34点)遺族より寄贈。
- 昭和57年5月10日 鍋島則子氏より工芸品(85点)寄贈。
- 昭和61年3月17日 佐賀植物友の会(須古将宏会長)から植物腊葉(さくよう一おしば)18,000点寄贈。
- 昭和62年5月23日 天皇陛下、「森林と文化展」ご観覧のためご来館。
- 昭和63年4月15日 入館者総数200万人に達する。
- 平成2年3月31日 過去最高の入館者数189,000名を記録(平成元年度の入館者数)。
- 平成2年10月6日 佐賀県立博物館開館20周年記念「佐賀の名宝—いろいろとかたち—」展を開催。
- 平成4年3月30日 佐賀県立博物館及び佐賀県立美術館の使用料に関する条例の一部改正。
- 平成4年8月6日 (高校生以下及び心身障害者等の無料化)(施行4.4.1)。
- 平成4年8月11日 第1回県内社寺調査委員会(以後、4年計画の調査に入る)。
- 平成6年5月9日 紀宮清子内親王殿下、御視察。
- 平成7年9月29日 佐賀県博物館協会設立。
- 平成7年10月12日 佐賀県立博物館開館25周年記念「知られざるふるさとの自然史一大集合!佐賀平野と有明海の生きものたちー」展開催。
- 平成7年12月20日 入館者総数300万人に達する。
- 来館者用エレベーター設置。

## 規模及び施設

### 本 館

構 造 鉄筋コンクリート造	3 階建
規 模 敷地面積	30,926.0m <sup>2</sup>
建築面積	1,076.2m <sup>2</sup>
延床面積	4,718.4m <sup>2</sup>

### 施 設

ロビー (案内所・常設展受付)	388.5m <sup>2</sup>
1号展示室	218.8m <sup>2</sup>
2号展示室	375.4m <sup>2</sup>
3号展示室	484.0m <sup>2</sup>
大展示室	523.5m <sup>2</sup>
中展示室	136.0m <sup>2</sup>
収蔵庫並整理室	524.0m <sup>2</sup>
研究室	66.0m <sup>2</sup>
館長室・応接室	72.0m <sup>2</sup>
総務課	68.0m <sup>2</sup>
学芸課	64.0m <sup>2</sup>
茶道具庫	24.0m <sup>2</sup>
車 庫	56.0m <sup>2</sup>
荷解場	86.0m <sup>2</sup>
電気室	48.0m <sup>2</sup>
ボイラー室 (制御室を含む)	181.0m <sup>2</sup>
その他の	1,403.2m <sup>2</sup>

### 茶 室

構 造 木造平屋建
規 模 床面積

57.35m<sup>2</sup>

### 駐 輪 場

構 造 軽量鉄骨平屋建
44.1m <sup>2</sup>

## 歳出予算

科 目	予算額(単位千円)	科 目	予算額(単位千円)
(博物館費)			
1 博物館運営費	41,546	4 企画展費	17,988
管 理 運 営 費	38,180	企画展開催費	16,269
会議及び研修費	495	企画展紹介費	1,719
博物館協議会費	407	5 常設展費	3,212
非常勤嘱託報酬	2,464	常設展示費	3,212
2 資 料 整 備 費	14,822	6 普及活動費	35
資 料 購 入 費	8,000	研究講座費	35
資 料 整 備 費	6,822	7 資料刊行費	468
3 調査研究費	796	8 茶室管理費	171
研 究 費	139	9 施設整備費	209,623
調 査 費	657	10 佐賀県寺社資料調査費	3,500
次 年 度 調 査 費	113		
歴 史 美 術 調 査 費	75		
考 古 資 料 調 査 費	34		
調 査 刊 行 費	435	計	292,161

## 博物館、美術館改修工事

### 当初予算

#### 1. 博物館エレベーター新設工事

(1)概要 多くの県民が優れた芸術文化に直接触れる機会を拡大するため、高齢者、身体障害者等に配慮してエレベーターを新設した。

博物館東南の位置に別棟建てで、1階から直接車椅子等で2階展示室並びに3階展示室へと出入りが自由にできるよう設置した。

(エレベーター 油圧制御式  
・乗用(車椅子仕様) 15人乗り)

(2)事業費 ￥131,968千円

アスファルト・ルーフィング材を張替えて、雨漏り等の防止を行った。

(2)事業費 ￥6,985千円

#### 6. 美術館火災報知設備改修工事

(1)概要 美術館に設置している火災報知設備の煙感知器が型式失効し使用できなくなったため、新機器と取り替えた。

(2)事業費 ￥3,287千円

### 11月補正予算

#### 7. 博物館・美術館内部改修工事

(1)概要 ① 博物館2階応接室・館長室を拡幅し併せて事務室まで、内部の全面改修と各階段(東・西・南・北)の壁面塗装並びに玄関ロビー上部回廊壁面の塗装を行った。

② 博物館1階男子・女子便所の便器の一部洋式化と、内部改修並びに美術館ラウンジ横男子・女子便所の便器の一部洋式化を図った。

(2)事業費 ￥31,219千円

#### 2. 博物館・美術館冷凍機転換工事

(1)概要 ターボ冷凍機(R-11フロン使用)と暖房用蒸気ボイラーを撤去して、ガス焚吸式冷温水発生機を新しく設置した。(フロンガス使用禁止に伴うもの)

(2)事業費 ￥177,224千円

#### 3. 美術館音響設備改修工事(ワイヤレスのみ)

(1)概要 美術館ホール内設置のワイヤレス機器(アンテナ工事を含む)をすべて更新した。

(2)事業費 ￥8,242千円

### 6月補正予算

#### 4. 博物館内部改修その他工事

(1)概要 建設開館後25年を経過し、劣化損傷が生じているため施設環境を整えた。

- ① 博物館2・3階の展示室の床材を張替え(Pタイル→タイルカーペット)。
- ② 玄関ロビー並びに各階段の照明器具を全て取り替えて、明るさをアップ。
- ③ 応接室・館長室・事務室の外窓ガラス廻り押さえコーリングの補修。

(2)事業費 ￥27,089千円

#### 5. 美術館渡り廊下屋上防水改修工事

(1)概要 美術館渡り廊下の屋根防水材である

## 事業の実施状況

### 1. 常設展「佐賀の歴史と文化」

会場 1号・2号・3号・大展示室

内容 自然（1号）・考古（2号）・歴史（2号）・美術（3号）・民俗（大展）の順に展示し、各分野の展示資料、解説を通して、佐賀県の歴史と文化を紹介した。概要は以下のとおり。

#### ☆ 佐賀県の自然

佐賀県は九州の北西部に位置し、北東部は福岡県、西部は長崎県に隣接する。北は対馬暖流が北上する玄界灘に面し、南は日本一の干満の差で有名な有明海が広がっている。

佐賀県を地形的に大別すると、脊振山地、西部丘陵地、多良火山地、佐賀平野の4地域に分けられる。脊振山地は県北部に横たわる脊振山、金山、九千部山などの山地で、古生代末期の三郡変成岩類と、これに貫入した中生代白亜紀の花崗岩類で構成されている。西部丘陵地は八幡岳・黒髪山・国見山などを含む熔岩台地で、新生代第三紀の堆積岩類と、その上に噴出した第三紀末から第四紀初めの各種火山岩類で構成されている。玄界灘に面した北西海岸はリアス式海岸で、島嶼部は西部丘陵地熔岩台地の延長とみられる。多良火山地は、佐賀県最高峰の経ヶ岳・多良岳など第四紀初期に形成された安山岩質の成層火山と熔岩台地で構成されている。佐賀平野は新生代第四紀沖積世に、筑後川・嘉瀬川・六角川などによってつくられた複合三角州で、表層は有明粘土層で下層は洪積世の堆積物が存在する。

佐賀県産の化石は、新生代5000万年前以降にできた第三紀～第四紀の二枚貝・巻貝・オウムガイなどの軟体動物やサメの歯・ナウマンゾウ臼歯などの脊椎動物、メタセコイヤ・ハス・ヤナギ・珪化木などの植物の化石が産出する。

動物では、シギ・チドリ・カモ類など多くの渡り鳥の飛来地・休息地として有明海は日本有数の地であり、現在までに佐賀県から記録された野鳥は300種以上にのぼっている。県鳥カササギは、国の天然記念物として大切に保護されている。アリアケシラウオ・ヤマノカミ・ワラスボ・チクゴエビ・アリアケガニは有明海だけに生息する特産種であり、ムツゴロウは珍魚として有名であるが減少がはなはだしく、県有明水産振興セ

ンターでは人工交配と実験をかけて、養殖による増殖を試みている。また「生きた化石」と呼ばれるオオシヤミセンガイ・ミドリシャミセンガイは古生代の、伊万里湾のカブトガニ、脊振山地・多良火山地のムカシトンボは中生代の生き残り生物として有名である。

植物では、山地に常緑広葉樹林を主とした自然林も点在しているが、ほとんどがスギ・ヒノキの人工林となっている。代表的な自然林は、脊振山地のブナ林、多良山地のモミ林、脊振山地・多良火山地・西部丘陵地のカシ林、玄界灘沿岸・島嶼部のタブ林などがある。佐賀県で発見された原産地植物としてはカネコシダ・クロカミラン・ハガクレカナワラビ・キュウシュウコゴメグサ・リュウゾウジヤナギ・クセンブツツヅジなどがある。この他特筆すべき事項としてミツガシワやエヒメアヤメの自生があり、またクスノキは佐賀県を代表する樹木である。

#### ① 佐賀県のおいたち

佐賀県地形模型、佐賀県の地質・地史

#### ② 佐賀県の岩石

球状閃綠岩・花崗岩・石灰岩・火山弾 ほか

#### ③ 佐賀県の化石

ヨコヤマオウムガイ・シキシマバス ほか

#### ④ 佐賀県の植物

クロカミラン・カネコシダ・アオホラゴケ ほか

#### ⑤ 佐賀県の昆虫類

チョウ・トンボ・コウチュウ類 ほか

#### ⑥ 佐賀県の野鳥

カササギ・キジ・ヤマドリ・フクロウ ほか

#### ⑦ カブトガニの生態

#### ⑧ 模型類

有明海干潟生態模型

エヒメアヤメ生態模型

森林の生態模型

森林の働きの模型

タイラノサウルス模型 ほか

また、下記のコーナー展示を行った。

#### 「博物館のまわりの生き物たち」(～5/14)

佐賀県立博物館の周囲は河川や水路、お堀などの水辺と、佐賀城公園にともなう緑地帯があり、市街地の中心にありながら豊かな生物相が見られる。ここに生息するトンボやチョウなどの昆虫類の標本のほか、淡

水魚については水槽に入れて生態展示をした。

「ふるさと佐賀の昆虫たち(1)(2)」(5/19~8/27)

佐賀県に生息する昆虫類の中からチョウ、トンボ、コウチュウ類の一部について標本を展示した。また、近年自然環境の悪化が問題になっていることから、特に絶滅のおそれのある昆虫類を取り上げた。

「さがの化石」(1/2~1/15)

佐賀県の新生代の地層から産出する化石をとおして、佐賀県の地質の成り立ちや古環境を解説した。

## ☆考古

### 旧石器時代・縄文時代

近年、我が国の旧石器文化探求の勢いは目ざましく、10万年以前の前期旧石器文化の様相もかなり鮮明になりつつある。本県の資料は後期から終末期のものに限られるが、多久市鬼の鼻山（安山岩）や伊万里市腰岳（黒曜石）などの石器素材の原産地を中心に特色ある石器文化が展開している。

縄文時代も基本的には採集経済の社会であったが、石器とともに土器が用いられるようになり、人々の食生活は一層安定した。

#### ① 石器を使った人々—旧石器時代—

- ・石器に使用された原石
- ・旧石器時代末期の各種石器

#### ② 土器を使うくらし—縄文時代—

- ・縄文時代早～前期の土器と石器
- ・縄文時代中期の土器と石器
- ・縄文時代後～晚期の土器と石器

### 弥生時代・古墳時代

弥生時代になると水稻耕作中心の生産経済社会となり、各集落の統合・離反の中から、やがて部族国家が形成されてゆく。本県は特に大陸文化を受容し、それを日本化していく弥生文化搖籃の地として重要な位置を占める。

古墳時代は前方後円墳に象徴される権力者の台頭と統一国家形成が進展した政治的激動期であった。同時に須恵器生産や製鉄に代表されるような先進技術が多く渡来人によってもたらされた時代でもあった。

#### ① 水稻農耕社会の発展—弥生時代—

- ・土器の変遷
- ・大陸系磨製石器

- ・青銅器武器から鉄製武器へ

- ・弥生人の装身具

- ・青銅の鏡（舶載鏡と仿製鏡）

- ・弥生人のまつり（銅鐸・青銅製武器形祭器）

#### ② 古墳が築かれた頃—古墳時代—

- ・古墳時代前期の土器—土師器—

- ・古墳時代後期の土器—須恵器—

- ・古墳時代の鏡

- ・古墳時代の武器

- ・古墳時代の馬具

- ・古墳時代の装身具

### 速報展示

「袖比本村遺跡—玉飾漆鞘・細形銅劍ほか複製品製作報告一」(6/24~7/2)

会場 博物館1階ロビー

## ☆歴史

日本列島の西端に位置する肥前国は、古くから政治的にも文化的にも朝鮮半島や中國大陸と密接なつながりを持っている。鎌倉時代に起こった二度の蒙古襲来では、この肥前国も直接の影響を受けたし、室町時代に東シナ海で活動しこの時期の東アジアの歴史を大きく動かす主体となった倭寇は、その構成員に対馬・奄美のほか松浦地方の領主たちを多く含んでいた。

戦国時代の末、北部九州に霸を唱えていた龍造寺隆信が島原の沖田継で戦死すると、実権は家臣団に信望の厚かった鍋島直茂に移った。直茂は豊臣秀吉の引き立てを受けて徐々に支配を強化した。関ヶ原の戦いでは西軍に属して敗れたが、領国削減は免れ、35万7千石の知行を安堵されて、直茂の嫡子勝茂が佐賀藩の初代藩主となった。

佐賀藩は江戸幕府から長崎警備を命じられており、幕末に諸外国が日本に接近してくると、長崎警備の強化のため軍事技術を洋式化する必要に迫られた。こうして佐賀藩は、幕末には他藩に先駆けて西洋の先端技術を探り入れて近代化し、西南雄藩の一つとしてやがて起こる維新の一翼を担うことになった。

#### ○主な展示資料

蒙古襲来絵詞（複製）、倭寇図巻（複製）

龍造寺隆信画像、須古城跡出土瓦、龍造寺の伝系図、豊臣秀吉朱印状、肥前名護屋城図屏風（複製）、

小城鍋島家伝來什器

鍋島直茂・勝茂画像、慶長小城内絵図、唐津藩領

#### 内絵図、島原陣軍配図

鍋島光茂画像、鬼丸三聖像、天縱殿額、葉隱聞書写本、山本常朝和歌書、鍋島治茂像、弘道館使用教科書、古賀精里画像、古賀穀堂画像  
文化四年・文化六年長崎警備図、鍋島直正像、鍋島直正と蘭船乗込之図、佐賀藩石火矢鋸立方図、佐賀藩精煉方絵図（複製）、佐賀藩精煉方使用徳利・薬壺、佐賀藩精煉方製作カノン砲・蒸気船・蒸気車雑型、長崎海軍伝習所絵図、観光丸模型、佐賀藩三重津海軍所絵図（複製）  
副島種臣書、江藤新平書、島義勇書、大木喬任書、佐野常民書など  
また、下記のテーマ展示を行った。

「長崎警備」（5/19～7/9）

「幕末佐賀の近代化」（7/14～8/27）

#### ☆美術・工芸

【第4期】平成8年1月2日～1月15日

##### 「古代から近世まで」

##### 仏教美術

誕生仏 1躯 奈良時代 寄託／広福護国禅寺  
金銅観音菩薩立像 1躯 奈良もしくは唐時代 寄託／個人  
金銅菩薩形坐像 1躯 高麗時代 寄託／普明寺  
楊柳観音像 1幅 李朝時代 寄託／広福護国禅寺  
善財童子歴参図 1幅 李朝時代 寄託／広福護国禅寺  
法華経 高麗時代 寄託／鏡神社  
金剛般若波羅蜜多経 1帖 高麗時代 寄託／慶門寺  
蔵山順空像（円鑑禪師） 1躯 鎌倉時代 寄託／高城寺  
蔵山順空置文 1枚 鎌倉時代 寄託／高城寺  
九条袈裟 1領 明時代 寄託／高城寺  
観音菩薩坐像 1躯 鎌倉～南北朝時代 寄託／高城寺

##### 刀剣・甲冑

刀（本行） 1口 江戸時代 寄託／個人  
脇差（八代忠吉） 1口 江戸時代 館蔵  
忠吉歴代画像 1幅 江戸時代 館蔵  
紺糸威銅丸 1領 江戸時代 館蔵

##### 陶磁

飴釉叩き壺 岸岳古唐津系・飯洞窯

16世紀末～17世紀初頭 口径12.8cm、高さ15.1cm、底径14.4cm

絵唐津柳文深向付 武雄古唐津系・内田皿屋窯

17世紀初頭 口径9.7cm、高さ9.7cm、底径4.2cm

三島唐津花文鉢 武雄古唐津系・小田志窯

17世紀前半 口径38.0cm、高さ8.5cm、底径14.0cm

染付葡萄蝶文皿 有田皿山

17世紀前半 口径18.5cm、高さ2.3cm、底径7.3cm

染付日輪山水文皿 有田皿山

17世紀前半 口径20.9cm、高さ4.0cm、底径7.8cm

色絵花蝶八橋文壺 有田皿山

17世紀後半 口径11.0cm、高さ22.1cm、底径9.6cm

色絵花蝶図輪花深鉢 有田皿山

17世紀後半 口径25.0cm、高さ11.6cm、底径11.1cm

色絵菊牡丹文面取瓶 有田皿山

17世紀末～18世紀前半 口径1.7cm、高さ23.0cm、底径5.8cm

色絵御所車風俗図罋皿 有田皿山

18世紀 口径28.4cm、高さ6.7cm、底径11.9cm

色絵桜花散菊唐花文透彫注器 有田皿山

18世紀 口径8.6cm、総高34.1cm、脚間6.5cm

色絵更紗文皿 鍋島藩窯

17世紀末 口径15.2cm、高さ3.7cm、底径8.0cm

色絵器粟花文皿 鍋島藩窯

18世紀 口径20.0cm、高さ5.6cm、底径11.0cm

青磁耳付花器 鍋島藩窯

18世紀 口径14.8cm、高さ20.2cm、底径8.0cm

##### 染織

鍋島更紗見本帖 卷子装

19世紀前半 幅34.0cm、長さ471.0cm

鍋島更紗秘伝書 卷子装

19世紀前半 幅34.0cm、長さ227.0cm

##### 近世絵画

獅子図屏風 長沢蘆雪筆 6曲1隻 館蔵

旭に松図 草場佩川筆 1幅 館蔵

郭子儀祝賀図 古川松根筆 1幅 館蔵

二行書 副島種臣筆 1幅 館蔵

漢詩屏風 中林梧竹筆 6曲1双 寄託

##### 近代洋画

百武 兼行 「耕 作」

〃 「バーナード城 下絵」

- 〃 「老婦人像」  
 〃 「タンパリンを持つ少女」  
 久米桂一郎 「京都加茂川の景」  
 〃 「子供がいる風景」  
 岡田三郎助 「矢調べ」  
 〃 「西洋婦人像」  
 〃 「薔薇」  
 高木 背水 「婦人像」

## ☆民俗

郷土の民俗では、歴史を民俗学的視野からとらえ、海・平野部から山間部にいたる諸々の習俗を概観できるように試みた。

とくに、国的重要有形民俗文化財に指定されている有明海漁撈具は質・量ともに充実しており、幕末から明治初期にかけての作と思われる「有明海漁業実況図」（松田房亮・全23図）や干潟生態模型と共に有明海の漁撈習俗を十分に知ることができる。

農業関係の資料としては、明治時代から昭和初期にかけての佐賀のクリーク（堀）農業を特徴づける各種農具があり、佐賀農業の歴史や当時の農業事情を伺い知ることができる。

その他、鳥栖市田代を中心とした製薬・売薬関係資料、東松浦郡相知町横枕の大漁製作用具、小川島での捕鯨用具など、佐賀の民俗を特徴づけている。

### ① 佐賀のすまい

- 民家模型（クド造り・ジョウゴ造り）
- 収納家具 ○あかり

### ② 佐賀農業のあゆみ

- 耕作用具 ○泥土揚げ用具 ○管理用具
- 収穫用具 ○脱穀調整用具

### ③ 有明海の文化

- 干潟漁業用具 ○干潟生態模型
- 貝養殖と採捕用具 ○船上で使う生活用具

### ④ 玄界の捕鯨

- 明治以降の捕鯨用具
- 肥前國產物図考（捕鯨の図・写真パネル）
- 勢子船・双海船（捕鯨の船）模型

### ⑤ 佐賀県の諸職

- 手書き和紙 ○独楽づくり ○漆塗り櫃
- 浮立面づくり ○鍛冶屋 ○大甕づくり
- 肥前配置売薬

また、下記のコーナー展示を行った。

### ① 干潟のある暮らし（3月25日～5月14日）

- ② 民具・いまむかし（5月19日～7月9日）  
 ③ 佐賀の職人—蠟をしづる—（7月14日～8月27日）

## ☆その他の展示

### 【第1期】

#### 「平成6年度博物館新収蔵品展」

会期 平成7年3月25日～5月14日

会場 佐賀県立博物館 3号展示室

観覧料 大人200円(150円) 大学生150円(100円)

高校生以下無料

( ) 内は20名以上の団体料金 常設展観覧料を含む

展示概要 平成6年度に当館が購入したり、寄贈・寄託を受けた新収蔵品を一同に展示・紹介した。毎年4～6月頃に開催しており、年々充実しつつある博物館資料の最新状況を知る絶好の機会となった。

今回も自然史1件、考古2件、絵画・書蹟類28件、彫刻4件、工芸17件と各分野にわたるヴァラエティーに富んだ内容となった。中でも「寿老人・花鳥図」は書画に優れたと伝えられる佐賀藩第三代藩主鍋島綱茂の画技の高さを示す大変優れた作品で、江戸時代前期の佐賀文化を知る上で注目される資料である。また佐賀神社御神宝の銅造如来形立像は統一新羅時代に遡るもので、松浦党と朝鮮半島のつながりを窺うことができる貴重な資料である。

## 出品目録

### 〈考古〉

北茂安町六の幡遺跡出土連弧文昭明鏡 1面 弥生  
寄託

浜玉町谷口古墳出土三角縁三神三獸獸帶鏡（複製）  
1面 古墳 製作

### 〈自然史〉

昆虫類標本（外国産） 66個体 購入

### 〈美術〉

#### （絵画・書蹟類）

#### 古川松根関係資料

古川松根肖像 作者不詳 1点 明治 寄贈  
和歌短冊「軍營の月」 古川松根筆 1枚 江戸  
館蔵（参考資料）  
古川松根追悼和歌 重松春香筆 1枚 明治 寄

贈

和歌二首 松平健子筆 1枚 明治 寄贈  
『康熙字典』 14冊 江戸 寄贈  
古川松根と師弟・交友関係にあった歌人の和歌短冊  
和歌短冊「禁庭雪」 香川景樹筆 1枚 江戸 寄贈  
和歌短冊「きたるもの…」 太田垣延月筆 1枚  
江戸 寄贈  
和歌短冊「早春鶯」 八田知紀筆 1枚 江戸 寄贈  
和歌短冊「篠上霧」 熊谷直好筆 1枚 江戸 寄贈  
和歌短冊「寒松」 六人部是香筆 1枚 江戸 寄贈  
和歌短冊「古川ぬしの…」 湯川直筆 1枚 江戸 寄贈

佐賀「小車社」歌人の和歌短冊

和歌短冊「夕恋」 野中安貞筆 1枚 江戸 寄贈  
和歌短冊「雨中螢」 野中古水筆 1枚 江戸 寄贈  
和歌短冊「なら園の大人の…」 今泉満春筆 1枚  
江戸 寄贈  
和歌短冊「磯時雨」 羽室貞風筆 1枚 江戸 寄贈  
和歌短冊（無題） 志波芳名筆 1枚 江戸 寄贈  
和歌短冊「秋」 古川遊布筆 1枚 江戸 寄贈  
和歌短冊「掛衣」 古川穂主筆 1枚 江戸 寄贈  
和歌短冊「筆塚いとなみをえし…」 緒方豊苗筆  
1枚 江戸 寄贈

副島種臣関係資料

十行書 副島種臣筆 1幅 明治 寄贈  
七言絶句三行書 副島種臣筆 1幅 明治 寄贈  
杜甫詩「蜀相」屏風 副島種臣筆 1隻 明治 寄贈  
副島種臣印章 21顆 明治 寄贈  
山本常朝「餞別」写 副島種臣筆 1冊 江戸 寄贈  
詩稿 副島種臣筆 2冊 明治 寄贈  
中国書論稿 副島種臣筆 1帖 明治 寄贈  
『雲蒸図録』 田島象二画・録 1冊 明治 寄贈

(彫刻)

値賀神社御神宝類

銅造如来形立像 1躯 統一新羅 寄託  
十一面觀音坐像 1躯 室町 寄託  
不動明王立像 1躯 室町 寄託  
不動明王立像 1躯 室町～江戸 寄託

(工芸)

壺 2旒 江戸 寄贈  
脇差（忠廣） 1口 江戸 寄託  
脇差（正廣） 1口 江戸 寄託  
栗に鶴図蒔絵文台 1点 江戸 寄託  
栗に鶴図蒔絵硯箱 1点 江戸 寄託  
栗に鶴図蒔絵文箱 1点 江戸 寄託  
栗に鶴図蒔絵色紙箱 1点 江戸 寄託  
栗に鶴図蒔絵薄短冊箱 1点 江戸 寄託

値賀神社御神宝類

御正体（懸仏） 10面 梅山 寄託  
御正体残欠（懸仏仏像） 7躯 鎌倉～室町 寄贈  
御正体残欠（懸仏鏡） 1面 室町～江戸 寄託  
鏡 1面 寄託  
柄鏡 1面 江戸 寄託  
独鉛杵 1把 桃山 寄託  
錫杖頭 2箇 桃山 寄託  
金幣 1把 江戸 寄託  
牛王版木 1面 江戸 寄託

【第2期】

常設特別展「没後90年 副島種臣の書」

会 期 平成7年5月19日～7月9日

※午前10時～午後6時(入館は5時半まで)／月曜休館

会 場 佐賀県立博物館 3号展示室

観 覧 料 大人200円(150円) 大学生150円(100円)

※高校生以下は無料／( )内は20名以上の団体料金  
展示概要 明治38年(1905) 78歳で副島種臣が死去して、90年が経過した。

種臣は、佐賀藩士の次男として佐賀城の南堀に面した地に生まれ、幼名は二郎、元服して龍種のち種臣と改め、号は一々学人のち蒼海とした。

種臣は明治維新政府で参与、参議、外務卿などを歴任したことでも有名であるが、一方、明治初年頃の40歳代から書を手がけた。種臣の書は独創的で個性豊かなもので、没後90年

を経過した今、「近代における最高のもの」と称されるほど高い評価が与えられている。

このたびの常設特別展では代表作、県内の未紹介作品と資料42点を展示した。

今回の展示では近年の種臣書研究で提示された三期の区分、つまり前期：明治初年から15年頃まで、中期：明治16年頃から29年頃まで、後期：明治30年頃から38年の没年までに区分することで書風の変遷をたどった。

#### 出品目録

- 〈前期〉明治初年～明治15年頃／直線的な整然とした書から、一見粗放な飾り気のない書へ  
李鴻章評語 副島種臣筆 1幅 明治6～9年 館蔵  
「南海望琉球諸島」詩 副島種臣筆 1幅 明治6～9年 佐賀県教育委員会  
「客中示人」詩 副島種臣筆 1幅 明治9年(1876) 館蔵  
二行書「天道…」 副島種臣筆 1幅 明治13年(1880) 寄託作品  
書額「宜汝子孫振々」 副島種臣筆 1面 明治10年代前半 城雲院(佐賀市)  
「送友房船郷」詩 副島種臣筆 1幅 明治10年代前半 館蔵  
「渓川」詩 副島種臣筆 1幅 明治10年代前半 寄託作品  
〈中期〉明治16年頃～明治29年頃／造形的な面白味ある書から、筆力を強調した勇ましい書へ  
書額「飛龍亭」 副島種臣筆 1面 明治17年(1884) 個人蔵  
一行書「門對浙江湖」 副島種臣筆 1幅 明治17年(1884) 個人蔵  
杜甫詩「漫成」 副島種臣筆 1幅 明治18年(1885) 館蔵  
鄭成功詩額 副島種臣筆 1面 明治18年(1885) 寄託作品  
二行書「日繞龍鱗識聖顏」 副島種臣筆 1幅 明治18年(1885) 個人蔵  
書額「野富烟霞口縱花柳春」 副島種臣筆 1面 明治10年代後半 実相院(大和町)  
「鍋島幹書斎壁字」陶淵明詩 副島種臣筆 1幅 明治10年代後半 個人蔵  
二行書「七月…」 副島種臣筆 1幅 明治10年代後半 個人蔵

- 屈原詩「漁父」 副島種臣筆 1幅 明治10年代後半 寄託作品／鍋島報效会  
唐人佳句 副島種臣筆 1幅 明治19年(1886) 館蔵  
李白詩「登金陵鳳凰臺」屏風 副島種臣筆 1隻 明治25年(1892) 館蔵  
富士山図 副島種臣筆 1幅 明治25年(1892) 館蔵  
一行書「仁義礼智」 副島種臣筆 1幅 明治26年(1893) 個人蔵  
裁松上人追弔詩 副島種臣筆 2幅 明治26年(1893) 聖正寺(佐賀市)  
二行書「孝子…」 副島種臣筆 1幅 明治28年(1895) 寄託作品  
一行書「有志者事終成」 副島種臣筆 1幅 明治28年(1895) 館蔵  
二行書「口瀛…」 副島種臣筆 1幅 明治20年代 寄託作品  
雜著巻 副島種臣筆 1巻 明治20年代 館蔵  
書額「洞中天」 副島種臣筆 1面 明治20年代 寄託作品  
書額「返旧迎新」 副島種臣筆 1面 明治20年代 館蔵  
〈後期〉明治30年頃～明治38年(没年)／かすれの目だつ刻み込むような書  
書額「帰雲飛雨」 副島種臣筆 1面 明治30年代 館蔵  
「上瞶不得作」詩 副島種臣筆 1幅 明治20年代 寄託作品  
三行書「激水…」 副島種臣筆 1幅 明治30年代 個人蔵  
李白詩「登金陵鳳凰臺」 副島種臣筆 1幅 明治30年代 個人蔵  
「桜花行」詩 副島種臣筆 1幅 明治30年代 館蔵  
五字「未嘗邪勝正」 副島種忠／種臣筆 1幅 明治30年代 寄託作品  
神陽先生拝楠神図 高柳快堂筆、副島種臣贊 2幅 明治37年(1904) 寄託作品  
書額「之子干帰宜爾家人」 副島種臣筆 1面 明治37年(1904) 館蔵  
書額「慎徵」 副島種臣筆 1面 明治37年(1904) 唐津鶴城同窓会  
〈資料〉  
副島種臣書簡(御父様ほか宛) 1巻 江戸時代末 館蔵  
餞別(山本朝常書状写) 副島種臣筆 1冊 嘉永3

年(1850) 館蔵

観帖覚 副島種臣筆 1帖 館蔵

歌稿 副島種臣筆 2冊 館蔵

副島種臣印章 22顆 明治9年(1876) 館蔵

雲臺図録 田島象二画・録 1冊 明治9年(1876)

館蔵

### 【第3期】

常設特別展「戦争と美術」

会期 平成7年7月14日～8月27日

※午前10時～午後6時(入館は5時半まで)/月曜休館

会場 佐賀県立博物館 3号展示室

観覧料 大人200円(150円) 大学生150円(100円)

※高校生以下は無料／( )内は20名以上の団体料金

展示概要 戦後50年にあたり、佐賀出身で第二次世界

大戦に従軍した洋画家北島浅一、御厨純一による戦争画をはじめ、戦時の工芸品、戦後の戦争をテーマとした作品など、戦争とかかわりをもった美術品を展示した。併せて江戸時代に制作された「いくさ」を題材にした絵画、あるいは武具甲冑などを展示することで趨向をこらした武士のよそおいを紹介した。

第二次大戦と江戸時代の美術資料を対比することで、明治維新を転換期とした戦争と美術のかかわりかたの相違を明瞭にできると思われる。

### 出品目録

蘇州河激戦の跡 藤島武二作 1点 昭和13年/1938年 館蔵/昭和58年度購入

戦友 北島浅一作 1点 大正4年/1915年 牛津町役場

戦友 伝北島浅一作 1点 昭和18年/1943年 館蔵/昭和58年度購入

戦車 山口猛彦作 1点 昭和18年/1943年 館蔵/昭和56年度寄贈

特攻隊敷島隊発進/下絵 御厨純一作 1点 昭和20年/1945年 個人蔵

ニューギニア沖海戦/下絵 御厨純一作 1点 昭和17年頃/1942年頃 個人蔵

スケッチ帳 御厨純一作 1冊 昭和20年/1945年頃 個人蔵

絵はがき 御厨純一作 2枚 昭和13年/1938年頃

### 個人蔵

軍事絵はがき 御厨純一作 4枚 昭和13年/1938年頃 個人蔵

空の神兵 古賀忠雄作 1駆 昭和17年/1942年 館蔵/昭和55年度寄贈

伏して敵をうつ 古賀忠雄作 1駆 昭和17年/1942年 館蔵/昭和55年度寄贈

磁器製手榴弾 2点 昭和20年頃 有田町歴史民俗資料館

磁器製貨幣 3枚 昭和20年頃 有田町歴史民俗資料館

磁器製防衛食器 1口 昭和18～20年頃 有田町歴史民俗資料館

磁器製防衛食器 1口 昭和18～20年頃 県立九州陶磁文化館

陸軍用磁製水筒 梶謙製磁(有田) 1口 昭和19～20年頃 県立九州陶磁文化館

染付桜に錫文碗/海軍用食器 5点 昭和18～20年頃 県立九州陶磁文化館

染付桜に錫文皿/海軍用食器 5点 昭和18～20年頃 県立九州陶磁文化館

染付五ツ星文碗/陸軍用食器 5点 昭和18～20年頃 県立九州陶磁文化館

桜に錫幾何文久留米絣(かすり) 1枚 昭和初期～20年頃 個人蔵

桜に錫幾何文久留米絣(かすり) 1枚 昭和初期～20年頃 個人蔵

桜に日章旗錫幾何文久留米絣(かすり) 1枚 昭和初期～20年頃 個人蔵

「皇日本」字文絣(かすり) 1枚 昭和初期～20年頃 個人蔵

「海陸萬歳」日の丸幾何文絣(かすり) 1枚 昭和初期～20年頃 個人蔵

菊に流水幾何文絣(かすり) 1枚 昭和初期～20年頃 個人蔵

飛行機幾何文絣(かすり) 1枚 昭和初期～20年頃 個人蔵

戦利品 池田龍雄作 1点 昭和30年/1955年 館蔵/昭和57年度購入

8月15日の意味 江口良作 1点 昭和41年/1966年 館蔵/昭和60年度寄贈

〈戦(いくさ)と武士の装い〉

八幡縁起(八幡宮愚童記) 2冊 江戸時代/17世紀 久間八幡宮(塩田町)

八幡縁起 1巻 江戸時代／18世紀 館蔵／昭和46年度購入

楠公父子訣別図並和歌 古川松根筆 2曲1隻 江戸時代／19世紀 館蔵／昭和51年度購入

朝鮮軍陣図屏風 大久保雪堂筆 6曲1隻 明治19年／1886年 寄託／鍋島報效会

戦国武将旗指物馬印屏風 6曲1双 江戸時代前期／17世紀 県立名護屋城博物館

脇差／銘「肥前國住人土佐守藤原忠吉」 1口 江戸時代／17世紀 個人蔵

刀／銘「肥前國佐賀住吉永」 1口 江戸 個人蔵

当世具足 1領 江戸 館蔵／昭和62年度購入

足軽具足 1領 江戸 館蔵／昭和62年度購入

梨地杏葉紋短刀拵 1口 江戸 寄託／鍋島報效会蔵

梨地杏葉紋衛府太刀拵／伝鍋島綱茂所用 1口 江戸 寄託／鍋島報效会蔵

龍図胸当 宮田勝貞作 1点 享保6年／1721年 館蔵／平成5年度購入

黒漆杏葉紋刀筒／鹿島鍋島家伝来 1合 江戸 館蔵／昭和57年度寄贈

黒漆杏葉紋刀掛／鹿島鍋島家伝来 1基 江戸 館蔵／昭和57年度寄贈

黒漆波に双龍・杏葉紋陣笠／鹿島鍋島家伝来 1頭 江戸 館蔵／昭和57年度寄贈

虎毛皮鞍掛／鹿島鍋島家伝来 1枚 江戸 館蔵／昭和57年度寄贈

梨地笙文蒔絵鞍・鑑／小城鍋島家伝来 1対 江戸 館蔵／昭和46年度購入

杏葉紋小柄・笄 1組 江戸 寄託／鍋島報效会蔵

鳳凰図小柄・笄 1組 江戸 寄託／鍋島報效会蔵

龍図小柄・笄 1組 江戸 寄託／鍋島報效会蔵

波に貝図鑑 1枚 江戸 寄託／鍋島報效会蔵

波に月図鑑 1枚 江戸 寄託／鍋島報效会蔵

龍図鑑 宮田勝貞作 1枚 享保10年／1725年 館蔵／平成4年度購入

山水図鑑 釘本弥左衛門作 1枚 江戸 館蔵／平成4年度購入

糸透鑑 伊藤正国作 1枚 江戸／17世紀 館蔵／平成4年度購入

葡萄図鑑 直充作 1枚 江戸 館蔵／平成4年度購入

猿猴図鑑 家廣作 1枚 江戸 寄託作品

老松雲竜図鑑 若芝作 1枚 江戸 寄託／鍋島報效会蔵

車透唐草文鑑 1枚 桃山 寄託／鍋島報效会蔵

鳥居透し鑑 宮田勝貞作 1枚 江戸 館蔵／平成4年度購入

松・灯籠文透し鑑 宮田勝盈作 1枚 江戸 館蔵／平成4年度購入

松樹透し鑑 宮田勝常作 1枚 江戸 館蔵／平成4年度購入

鉢豆図鑑（大・小）野田光廣作 1枚 江戸 館蔵／平成4年度購入

阿弥陀鋤き鑑 吉信作 1枚 江戸／17世紀 館蔵／平成4年度購入

梵字鑑 六代忠吉作 1枚 江戸 館蔵／平成4年度購入

唐草杏葉紋鑑 1組 江戸 寄託／鍋島報效会蔵

## 2. 企画展

### 佐賀県立博物館開館25周年記念展

#### 知られざるふるさとの自然史

#### 一大集合！佐賀平野と有明海の生き物たち

主 備 佐賀県立博物館

会 期 平成7年9月29日(金)～11月5日(日)

会 場 佐賀県立博物館1号・2号・3号展示室

観覧料 大人 610円(510円)

大学生 250円(150円)

( ) 内は20名以上の団体料金

※高校生以下は無料

図 錄 A4版オールカラー98ページ

記念講演会

##### ・演題 「農業が自然環境をつくる」

講師 福岡県農業改良普及員 宇根 豊氏

日時 10月8日(日) 午後1時～

場所 佐賀県立美術館1号A展示室

##### ・演題 「知られざる有明海の生き物たち」

講師 長崎大学水産学部教授 田北 徹氏

日時 10月22日(日) 午後1時～

場所 佐賀県立美術館1号A展示室

##### ・演題 「佐賀平野と人と自然と生き物たち」

講師 中原正登(佐賀県立博物館)

日時 10月8日(日) 午後2時15分～

場所 佐賀県立美術館1号A展示室

その他 展示内容に沿った20分のビデオソフトを作成し、会期中会場で放映した。

主旨 佐賀平野と有明海は、多くの県民にとってのふるさとである。しかしその風景や自然は年々その姿を変えており、そこに生活する生物は人々の心から忘れられつつある。

佐賀平野は全国でも有数の水郷地帯であるが、これは私たちの祖先が生活をしていく上で作り上げた環境であり、結果としてトンボや淡水魚、水生植物などの水生生物に豊かな生息環境を提供することになった。私たちの祖先は、そこで捕れる魚などをうまく利用しながら共存してきたのである。近年、生活様式の近代化とともに、これらの自然は生活から疎遠になりつつある。

しかし、今でも佐賀平野には、全国的に姿を消しつつある水生生物が生息している。

また、ムツゴロウやワラスボは有明海を代表する生物として広く知られているが、そこほかにも私たちの郷土には知られざる貴重な生物が多い。たとえば魚類だけに限っても、ヤマノカミ、アリアケシラウオは日本では有明海や有明海に注ぐ河川だけに生息し、エツ、アリアケヒメシラウオは、世界広しと言えども有明海のみ生息している。

このように佐賀県には、他では見ることができない特殊な自然環境が残されている。しかし、これらを含めごく普通に見られる生物についても、その標準和名や生態についてあまり知られていないのが現状である。

今回の企画展は、淡水魚の生態など親しみやすい展示をとおして、佐賀の自然環境をより多くの人に知ってもらい、今問われている人と自然の共存を考えることを目的に計画した。

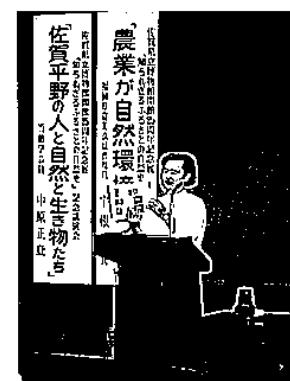
#### 展示構成

1. 淡水魚水族館
2. 佐賀平野の生き物たち
3. 有明海の生き物たち
4. 変わりゆくふるさと

入場者数 13,292名(33日間)



会場風景



記念講演会

### 3. 資料調査（博物館）

平成 7 年

4月14日	企画展「知られざるふるさとの自然史」にともなう調査(佐賀県芦刈町)	学芸員	中原正登・山崎和文
4月24日	企画展「知られざるふるさとの自然史」にともなう調査(佐賀県佐賀市)	学芸員	中原 正 登
4月26日	博物館常設特別展「没後90年 副島種臣の書」にともなう調査(佐賀県唐津市・有田町)	学芸員	福 井 尚 寿
5月 2 日	企画展「知られざるふるさとの自然史」にともなう調査(佐賀県東部)	学芸員	中原 正 登
5月 8 日	企画展「知られざるふるさとの自然史」にともなう調査(佐賀県川副町)	学芸員	山 崎 和 文
5月 9 日	企画展「知られざるふるさとの自然史」にともなう調査(佐賀県神埼郡・大和町)	学芸員	中原 正 登
5月 9 日	企画展「知られざるふるさとの自然史」にともなう調査(長崎県)	学芸員	山 崎 和 文
5月15日	企画展「知られざるふるさとの自然史」にともなう調査(佐賀県芦刈町)	学芸員	中原 正 登
5月31日	企画展「知られざるふるさとの自然史」にともなう調査(佐賀県鳥栖市・神埼町)	学芸員	中原 正 登
6月15日	企画展「知られざるふるさとの自然史」にともなう調査(福岡県福岡市)	学芸員	中原 正 登
6月20日	常設展「戦争と美術」にともなう調査(佐賀県富士町・鎮西町)	学芸員	福井尚寿・山崎和文
6月20・21日	企画展「知られざるふるさとの自然史」にともなう調査(山梨県)	学芸員	中原 正 登
6月22日	博物館常設特別展「戦争と美術」にともなう調査(牛津町・有田町・塩田町)	学芸員	福 井 尚 寿
6月29日	企画展「知られざるふるさとの自然史」にともなう調査(長崎県長崎市)	学芸員	中原正登・山崎和文
7月 4 日	企画展「知られざるふるさとの自然史」にともなう調査(佐賀県基山町)	学芸員	中原 正 登
8月 1 日	歴史資料調査(佐賀県三日月町・多久市)	学芸員	福井尚寿・今川泰靖
8月 8 日	企画展「知られざるふるさとの自然史」にともなう調査(佐賀県武雄市)	学芸員	中原 正 登
8月 8 日	企画展「知られざるふるさとの自然史」にともなう調査(佐賀県厳木町)	学芸員	山 崎 和 文
8月 9 日	歴史資料調査(佐賀県佐賀市)	学芸員	宇治 章・蒲原宏行
8月16日	社寺調査(佐賀県神埼町)	学芸員	竹 下 正 博
8月17日	社寺調査(佐賀県神埼郡)	学芸員	竹 下 正 博
8月23日	企画展「知られざるふるさとの自然史」にともなう調査(長崎県諫早市・佐賀県芦刈町)	学芸員	中原 正 登
9月10・11日	次年度企画展調査(韓国ソウル市)	学芸員	竹 下 正 博
10月 3 日	歴史資料調査(佐賀県唐津市)	学芸員	川 副 義 敦
10月 5 日	社寺調査(佐賀県唐津市)	学芸員	竹 下 正 博
10月11日	歴史資料調査(佐賀県多久市)	学芸員	宇 治 章
10月25日	美術資料調査(長崎県波佐見市・佐賀県佐賀市)	学芸員	福 井 尚 寿
10月30日	社寺調査(佐賀県内)	学芸員	竹 下 正 博
10月31日	歴史資料調査(佐賀県唐津市・鎮西町)	学芸員	川 副 義 敦
11月 1 日	歴史資料調査(熊本県熊本市)	学芸員	川 副 義 敦
11月 1 日	社寺調査(佐賀県内)	学芸員	竹 下 正 博
11月 7 日	社寺調査(佐賀県内)	学芸員	竹 下 正 博
11月 8 日	社寺調査(佐賀県内)	学芸員	竹 下 正 博

平成 8 年

1月 8 日	民俗資料調査(佐賀県大和町・神埼町)	学芸員	山 崎 和 文
3月18日	自然史資料調査(佐賀県芦刈町)	学芸員	中原 正 登
3月21日	自然史資料調査(福岡県太宰府市)	学芸員	中原 正 登

#### 4. 博物館観覧状況

##### ①博物館主催事業

常 設 展	有 料				無 料			
	個 人		團 体		(二番券)		高 校	中・小
	大 人	大 学	大 人	大 学	大 人	大 学		
佐賀県の歴史と文化	3,611	188	120	61	919	31	894	2,424

企 画 展	有 料				無 料			
	個 人		團 体		大 人	大 学	高 校	中・小
	大 人	大 学	大 人	大 学				
佐賀県立博物館開館25周年記念展 知られざるふるさとの自然史 一大集合!佐賀平野と有明海の生きものたち	2,861	280	183	83			629	6,822

合 計 (常設展+企画展)	6,472	468	303	144	919	31	1,523	9,246
------------------	-------	-----	-----	-----	-----	----	-------	-------

##### ②県関係事業(博物館)

展 览 会 名	無 料					
	大 人	大 学	高・中・小	障 害 者	招 待 券	優 待 券
第45回佐賀県児童生徒理科作品展	466	3	434			
合 计	466	3	434			

無 料				合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場
障 害	招 待	優 待	その他の					
61	118	71	1,573	10,071	134	75	4／1～3／31 11／6～12／28 } 玉井の為 1／16～3／24 } 満時休館	1、2、3 大展示室

無 料				合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場
障 害	招 待	優 待	その他の					
106	1,495	211	622	13,292	33	403	9／29～11／5	1、2、3

167	1,613	282	2,195	23,363	167	140		
-----	-------	-----	-------	--------	-----	-----	--	--

合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場	主 催
903	4	226	9／22～9／26	3号	県理科教育振興会
903	4	226			

## 5. 普及活動

### (1) 資料の刊行

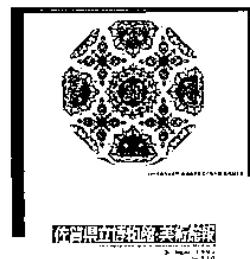
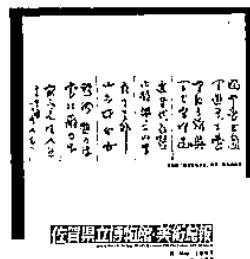
#### 館報

年4回、各号8頁で800部発行。

全国の主要博物館、美術館ならびに研究機関、県内の教育機関、社会教育団体等に配布。企画展、常設展の案内、資料紹介、研究報告等を掲載。平成7年度各号の内容は下記のとおり。

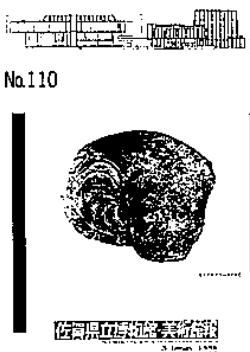
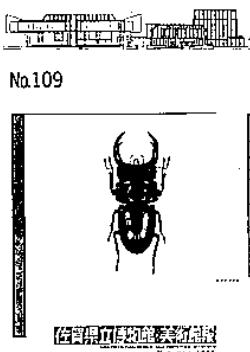
#### No.109

- ◇表紙・李白詩「登金陵鳳凰臺」屏風 副島種臣筆
- ◇常設特別展案内「副島種臣の『鏡帖』」
- ◇エッセイ「用語としての『写実』—明治時代—」
- ◇調査ノート「平成6年度 県内社寺調査 概要報告」
- ◇「あいさつ」館長 深川弘一／人事異動／お知らせ
- ◇行事案内／日誌



#### No.110

- ◇表紙・12代今泉今右衛門 色鍋島更紗文八角大皿
- ◇エッセイ「昭和をみる—九州の伝統工芸」
- ◇常設特別展案内「《八幡愚童記》について」
- ◇調査ノート「出土琴に見る和琴成立の可能性」
- ◇行事案内／日誌



#### No.111

- ◇表紙・オオクワガタ
- ◇博物館開館25周年記念「知られざるふるさとの自然史一大集合！佐賀平野と有明海の生き物たち」展について
- ◇研究ノート「竪穴系横口式石室の型式分類について」
- ◇研究ノート「鍋島綾通と中国綾通」
- ◇行事案内／日誌



#### No.111

#### No.112

#### 博物館・美術館年報

平成6年度佐賀県立博物館・美術館年報No.25を刊行し、平成6年度の管理概要、事業概要、資料概要、茶室の管理と運営の概要等を掲載し、各方面に配布。印刷部数800部、A4版、アート紙、66頁

#### 調査研究書

平成7年度佐賀県立博物館・美術館調査研究書第21集を刊行、各方面に配布した。印刷部数800部、B5版、アート紙、60頁。内容は下記のとおり。  
中牟田賢治（考古）、山崎和文（民俗）

#### No.112

- ◇表紙・ヨコヤマオウムガイ化石
- ◇平成7年度 博物館・美術館講座  
世界のやきもの—2万年の流れ—
- ◇エッセイ「枝吉次郎書簡についての一考察」
- ◇常設展案内「佐賀の化石」
- ◇行事案内／日誌

#### 図録

企画展「知られざるふるさとの自然史一大集合！佐賀平野と有明海の生き物たち」にともない刊行したもので、カラー図版、解説等98頁。印刷部数1000部、B4版変形、アート紙。

## (2)研究講座

## 1. 記念講演会

企画展「知られざるふるさとの自然史一大集合！佐賀平野と有明海の生き物たち」開催を記念して下記の内容で実施した。

・日 時 10月8日(日) 13:00～

演 題 「農業が自然環境をつくる」

講 師 宇根豊(福岡県農業改良普及員)

会 場 佐賀県立美術館1号A展示室

・日 時 10月8日(日) 14:15～

演 題 「佐賀平野の人と自然と生き物たち」

講 師 中原正登(佐賀県立博物館)

会 場 佐賀県立美術館1号A展示室

・日 時 10月22日(日) 13:00～

演 題 「知られざる有明海の生き物たち」

講 師 田北徹(長崎大学水産学部)

会 場 佐賀県立美術館1号A展示室

## 2. 博物館・美術館講座

テ　一　マ	担 当	期 日
フランス近代絵画の流れ	米村 典子 (九州芸術工科大学)	3月16日
世界のやきもの—2万年の流れ	宇治 章 (当館学芸員)	3月17日

## (3)博物館実習

学芸員養成講座を持つ大学からの要請により、7月4日㈫から7月14日㈮までの10日間実施した。

7 月	実 習 科 目 (担当)	
	午 前	午 後
4日㈫	開講式 見学・管理運営(大園)	博物館・美術館の学芸活動 (森・中牟田・蒲原・松本)
5日㈬	歴史(川副)	自然史(中原)
6日㈭	近世美術(福井)	民俗(山崎)
7日㈮	考古学実習(中牟田・蒲原)	
8日㈯	個人またはグループによる館外実習	
10日㈪	展示物取扱講習(撤収)	
11日㈫	展示物取扱講習(展示)	
12日㈬	中世美術(竹下)	展示物取扱講習(展示)
13日㈭	近代美術(松本)	工芸(宇治)
14日㈮	実習ノート整理	閉講式

## (4)館外普及活動

佐賀県広報連絡会議出席(4月18日、5月23日、6月27日、7月27日、8月29日、9月28日、10月27日、11月29日、2月22日、3月22日)

企画展「知られざるふるさとの自然史一大集合！佐賀平野と有明海の生き物たち」広報

(9月11、12、13、14、15、18、19、20、21、22日)

## 資料の概要

### 1. 購入資料

#### (1)自然史資料

資料名	数量	備考
エツ樹脂封入標本	1点	発生
ハゼクチ樹脂封入標本	1点	発生
プラスボ樹脂封入標本	1点	発生
アリアケヒメシラウオ樹脂封入標本	1点	発生
シロチチブ樹脂封入標本	1点	発生
ヤマノカミ樹脂封入標本	1点	発生
オオシャミセンガイ樹脂封入標本	1点	発生
ヒメモクズガニ樹脂封入標本	1点	発生
タビラクチ樹脂封入標本	1点	発生
アリアケガニ樹脂封入標本	1点	発生
トビハゼ樹脂封入標本	1点	発生
ムツゴロウ樹脂封入標本	1点	発生
アゲマキ樹脂封入標本	1点	発生
シオマネキ樹脂封入標本	2点	発生 オス・メス各1点
アリアケシラウオ樹脂封入標本	1点	
ウミタケ樹脂封入標本	1点	
ゲンゴロウブナの鰐耙樹脂封入標本	1点	
ギンブナの鰐耙樹脂封入標本	1点	
ミドリシャミセンガイ樹脂封入標本	1点	
ナメクジワオ樹脂封入標本	1点	
カワセミ剥製標本	1点	
中世代ジュラ紀のトンボ化石	1点	

#### (2)歴史資料

資料名	数量	備考
千代田の御表	1冊	紙本 冊子 3枚組18組
ロシア使節来航図	1幅	紙本 2枚組
上野博覽会御遊覧之図	1部	紙本 3枚組
石川県金沢博覽場列品之図	1部	紙本 3枚組
佐賀県運動記録	1部	紙本 3枚組
刀銘 八代藤原忠吉作 九代忠吉銘	1口	
長崎港および市街図	1面	紙本 銅版画
征韓論之図	2組	紙本 3枚1組
東京日々新聞687号	1枚	紙本 版画
東京日々新聞656号	1枚	紙本 版画
長崎海軍伝習所軍艦運用テキスト	2冊	紙本墨書 冊子(紙綴)
明治10年九州一覽図	1枚	紙本 銅版 彩色
鍋島直正和蘭船乗り込みの図(複製)	1面	発生

#### (3)美術・工芸資料

資料名	数量	備考
大黒天図 広渡心海筆	1幅	絹本墨画淡彩 掛幅装
七言絶句 壱茶翁筆	1幅	紙本墨書 掛幅装
聖護林偶成 壱茶翁筆	1幅	紙本墨書 掛幅装

## 2. 寄贈資料

## (1)自然史資料

資 料 名	数 量	寄 贈 者
線柱石	1	佐賀郡大和町 鬼木 初俊
スミノエガキ化石	3	佐賀郡東与賀町 内田才太郎
大形巻貝化石	2	〃
トゲオトンボ類	15	(社)トンボと自然を守る会

## (2)歴史資料

資 料 名	数 量	寄 贈 者
富士山図 (和歌自賛) 山岡鉄舟 筆	1	佐賀市 古賀チヨコ
古賀精里 霽額	1	横浜市 諸岡 もと
山岡鉄舟 書額	1	〃
草場佩川 「竹」図	1	〃
鍋島直彬 「竹」図	1	〃
鍋島直彬 書軸	1	〃
山水図 「松」	1	〃
秀雲 「花」	1	〃
紅雲 「流」	1	〃
一行書	1	〃
二行書	1	〃
三行書	1	〃
明治天皇御製	1	〃

## (3)美術・工芸資料

資 料 名	数 量	寄 贈 者
義経十九臣 歌川国芳 画	1	佐世保市 深野 博喜
(無題) 歌川国貞 画	1	〃
青楼美人合 久喜万字屋内鑑井 (無款)	1	〃
浅草金龍山 (無款)	1	〃
平戸玉ノ戸弘ノ助 歌川国輝 画	1	〃
子供あそび 歌川芳虎画	1	〃
咲咲鳴国 歌川茅虎 画	1	〃
忠臣蔵七段目「歌麿」画	1	〃
(無題) 大根に鳳 広重 画	1	〃
宮延人物図扇	1	佐賀市 近藤恵美子
松竹梅鶴丸文柄鏡	1	別府市 高比良吉男
黒漆塗鏡掛	1	〃
蝶草花文薄繪盃洗	1	〃
化粧道具一式 (9点)	1	〃
灯明具一式 (4点)	1	〃
矢立て	1	〃

## 3. 寄託資料

## (1)考古資料

資料名	数量	委託者	備考
築山経塚出土瓦経他 一括	236件	大和町教育委員会	
本村籠遺跡出土多錫細文鏡他 一括	21件	"	
石塚1号古墳出土挂甲他 一括	23件	諸富町教育委員会	

## (2)歴史資料

資料名	数量	委託者	備考
西村家資料	113件	佐賀市 個人	
鶴田家資料	12件	唐津市 個人	
鶴田家文書	207件	武雄市 個人	

## (3)美術・工芸資料

資料名	数量	委託者	備考
川端玉章筆 夏景山水図	1面	唐津市 個人	
川端玉章筆 雪景山水図	1面	"	
中林悟竹筆 四字書額	1面	"	
中原南天椿筆 書額「南山寿」	1面	"	
小笠原長生筆 書額「徳沢如海」	1面	"	
伊東祐亨筆 書額「老将…」	1面	"	明治32年
「敬堂」筆 書額「東天古」	1面	"	
「寿造」筆 書額「協力一心」	1面	"	
銅鐘	1口	小城郡 星巣寺	
達磨像	1頭	"	
鎔金合子	1合	唐津市 少林寺	
達磨図	1幅	"	
禪林列祖図	1幅	"	
鷹図	1幅	"	
湖心碩鼎・天桂明完書状	1幅	"	
金剛般若波羅蜜經	1点	"	
草場佩川筆 「観捕鯨行」詩	1幅	神奈川県 個人	
草場佩川筆 七言絶句三行書	1幅	"	慶応2年(1866)
草場船山筆 五言絶句二行書	1幅	"	
頼山陽筆「欲山懷古」詩	1幅	"	
頼山陽筆「浪華遙追」詩	1幅	"	
篠崎小竹筆「楓川草場先生耳順寿」詩	1幅	"	弘化3年(1846)
鍋島直正筆「好佩川八十」詩	1幅	"	慶応2年(1866)
鍋島直映筆 一行書「元正氣象佳」	1幅	"	
鍋島直虎筆「賀楓川翁八十寿」詩	1幅	"	慶応2年(1866)
古賀精里筆 書額「温縷」	1面	"	
古賀精里筆 二行書	2幅	"	
森東益(滑翁)筆 一行書	1幅	"	文化8年(1811)
朝鮮通信使詩文巻(李顥相ほか全28種)	2巻	"	文化8年(1811)
諸名家書画巻(古賀精里ほか全18種)	1巻	"	文化8年(1811)
草場佩川筆 寿星図	1幅	"	万治1年(1860)
草場佩川筆 松図	1幅	"	文久2年(1862)
草場佩川筆 竹・梅図	2幅	"	
草場佩川筆 富士山と奴図	1幅	"	
草場佩川筆 菊図	1幅	"	
草場佩川筆 婆心帳図	1幅	"	
草場佩川筆 小禽図	1幅	"	
伝草場佩川筆 若齋翠雀図模本	1幅	"	
伝草場佩川筆 竹溪図稿	1幅	"	
草場船山筆 萩図	1幅	"	
「匡信」筆 江ノ島富士遠望図(佩川賛)	1幅	"	
江越織浦筆「沢蟹図」	1幅	"	
「匡信」筆 鹿図	1幅	"	

資料名	数量	委託者	備考
「梅漁」筆 竹梅図	1幅	〃	
高柳快堂筆 老松図	1幅	〃	明治39年(1906)
諸名家書簡巻(林大学頭ほか全25種)	1巻	〃	
姉河流鉢術目録(草場佩川宛)	1巻	〃	文化3年(1806)
辞令(宮内省、草場佩川宛)	1通	〃	大正5年(1916)
印章(草場佩川所用)	44顆	〃	
筆(草場佩川所用)	1管	〃	
筆筒(草場佩川詩陰刻)	1口	〃	
硯	4面	〃	竹製

#### 4. 資料貸出状況

資料名	貸出先・目的	貸出期間
肥前名護屋城図屏風・同複製・菊菱紋薄繪仕器ほか 8点	街頭会館「御陽成天皇とその時代」展	H7.4.1~5.19
肥前名護屋城図屏風・同複製 2点	仙台市博物館「雷に見る伊達正宗」展	H7.4.16~6.10
洪浩然筆「勤謹」・「孤舟云々」 2点	佐賀県立名護屋城博物館「洪浩然とその世界」展	H7.6.6~9.13
楊柳観音像 1点	韓国湖嶽美術館「大高麗」展	H7.6.26~9.16
二塚山遺跡出土品・杣島山遺跡出土品 7点	北九州市立考古博物館「弥生の鉄文化とその世界」	H7.7.19~9.20
肥前国産物図考・鯨船模型・捕鯨砲・ホラガイほか 8点	山口県立博物館「くじら」展	H7.7.27~8.30
晋州癸巳事蹟忠烈錄・朝鮮軍陣図屏風 2点	佐賀県立名護屋城博物館「唐入り一秀吉の朝鮮侵略」展	H7.9.22~11.14
東妙寺並妙法寺境内図 1点	大分県立宇佐風土記の丘資料館「寺社の景観」展	H7.10.5~11.14
染付鍋島藩縞絵図皿 1点	梯有田V.O.C「鍋島」展	H7.10.6~12.12
立川鉱業労働組合旗 1点	脇山正一・立川鉱業閉山25周年記念式典	H7.10.26~11.6
坂の下遺跡出土鯨骨压痕土器底部 1点	生月町博物館・島の館「常設展」	H7.11.1~H8.10.31
宇木汲田遺跡出土硬玉製勾玉・碧玉製管玉ほか 200点	糸科哲男・成分分析調査	H7.11.4~H8.2.3
肥前名護屋城図屏風複製 1点	愛媛県歴史文化博物館「伊予の水軍」展	H8.2.4~4.3
肥前国産物図考 1点	国立科学博物館「日本の鉱山文化」展	H8.2.10~3.31
本村籠遺跡出土多細文鏡 1点	佐賀県立名護屋城博物館・複製品製作	H8.3.5~4.30

#### 5. 購入図書

図書名	発行所
日本古代遺跡事典	吉川弘文館
日本海岸動物図鑑(II)	保育社
日本農耕具史の基礎的研究	和泉書院
復刻 台湾の農具	慶友社
柳川藩叢書	青潮社
仏教美術入門	平凡社

## 茶室「清恵庵」の管理と運営の概況

### 1 茶室規模及び施設

茶室「清恵庵」は昭和48年10月郷土出身の実業家故市村清氏のご遺志により、同夫人幸恵氏より本県に寄贈されたもので、今年で23年目を迎える。利用の傾向としては普及が広く一般に浸透し、県内や、県外の茶道各流派のグループによる利用や、各種団体による茶会など幅広く利用された。

設計者 堀口捨己 東京都大田区山王4-6-5

早川正夫 東京都港区青山5-9-12

アイザワビル

構造 木造平家建 寄棟造り

規模 床面積 57.35m<sup>2</sup>

### 2 茶室の利用状況

茶室「清恵庵」の利用については、23年目に入り、大学生茶道部をはじめ、各流派の茶道グループによる茶会等利用の幅も広まり、社会教育の一環として利用された。

月別にみた利用状況は次のとおりである。

平成7年度			
月	利用団体数	利用者数	見学者数
4	1	13	6
5	2	6	2
6			2
7	2	24	6
8	3	23	
9	2	36	5
10			4
11			1
12			2
1	2	30	
2	1	51	2
3	1	14	2
計	14	197	32

### 3 茶道具備品

平成7年度末の概況は次のとおり191点である。

掛物 淡々斎宗室、希斎宗有、大徳寺桃林の書、村瀬玄妙の書、売茶翁の二行書、千宗佐、千代尼

花入 胡銅、朝鮮唐津「中里重利作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原崖作」、備前焼、竹花入「生野祥雲斎作」、竹一重切花入「宗陵作」、有馬千鳥籠花入、有馬ひさご籠花入「昭竹斎作」、背磁鶴首花入「小笠原崖作」

香合・香炉 「12代今泉右衛門作」、「井上萬二作」、黒牟田焼「丸田正美作」、「宗祥作」、菊花書詰躋卯香合「助市作」、「13代今泉今右衛門作」、「源右衛門作」

茶碗 唐津奥高麗「中里無庵作」、絵唐津・唐津刷毛目「13代中里太郎衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原崖作」、青磁「中島宏作」、唐津井戸・唐津皮鯨茶碗「中里重利作」、白磁茶碗「初代忠右衛門作」、黒楽茶碗「小川良楽作」、志野茶碗「荒川豊蔵作」、支那焼、高麗斗々屋「千漢鳳作」

水指 信楽焼「高橋良樂斎作」、朝鮮唐津「中里重利作」、小山路焼「江口勝美作」、染付「12代今泉今右衛門作」、高麗「千漢鳳作」

薄茶器 沈金璽「安村稔作」

濃茶器 「13代酒井田柿右衛門作」

茶杓 「宗泰作」

風炉 利休面取風炉、切合唐銅風炉、合金面取風炉、鬼面共耳風炉

釜 切合釜・竹紋線口釜「松寿作」、筋入炉釜、菊桐地紋炉釜、雲龍釜「高橋敬典作」、尻帳釜「高橋敬典作」、鬼面共耳風炉釜「横倉嘉山作」

棚 竹台子、桐丸卓、桑小卓、真塗長板

火入 染付「12代今泉今右衛門作」

菓子器 唐津焼「13代太郎衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、背磁「中島宏作」、現川焼

建水 不審庵伝来写「11代中川淨益作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、唐銅

風炉先屏風 秋草蒔絵

炉縁 高台寺蒔絵「柴田利雄作」

曲湯桶 置炉、瓶掛、蒟蒻塗四方盆、茶托と蓋、茶碾、茶壺

平成 7 年度

佐賀県立美術館

## 美術館の沿革

- 昭和55年 3月 県政百周年記念事業の一環として、昭和58年開館を目指し、佐賀県立美術館の建設を決定。
- 昭和55年 4月25日 佐賀県立美術館建設委員会設置。
- 12月10日 安井建築設計事務所による基本設計採用。
- 昭和56年 3月31日 安井建築設計事務所による実施設計採用。
- 10月26日 佐賀県立美術館建設着工。
- 昭和58年 1月31日 佐賀県立美術館建設完工。
- 4月 1日 佐賀県立美術館設置条例施行。  
佐賀県立博物館及び美術館協議会条例施行。  
佐賀県立美術館処務規則施行。
- 10月 7日 山口亮一氏遺作64点を山口三千也氏より寄贈受ける。
- 10月 8日 佐賀県立美術館落成式、開館記念展「近代・九州の洋画家たち展」開催。
- 昭和61年 9月 1日 石本秀雄氏遺作31点を遺族より寄贈受ける。
- 昭和63年 9月30日 佐賀県立美術館開館 5周年記念展「田園風俗画展」開催。
- 平成 4年 8月11日 紀宮清子内親王殿下御視察。
- 平成 5年10月 8日 佐賀県立美術館開館10周年記念展「岡田三郎展」開催。開館以来最高の入館者を記録した。
- 平成 6年 3月29日 古賀忠雄彫刻の森を開園。
- 平成 6年 7月22日 美術館所蔵名品巡回展「夏の美術館」(～8月7日、河村美術館)を開催する。当年度2会場、以後引き続き開催。
- 平成 7年 1月18日 田原輝夫氏遺作69点を田原洋三氏より寄贈受ける。

## 規模及び施設

構 造	鉄筋コンクリート造	一階建	一部二階建	
規 模	敷地面積		7,986m <sup>2</sup>	
	建築面積		3,644m <sup>2</sup>	
	延床面積		4,238m <sup>2</sup>	
施 設	1号展示室	204m <sup>2</sup>	倉 庫	5m <sup>2</sup>
	2号展示室	230m <sup>2</sup>	ホール	529m <sup>2</sup>
	3号展示室	250m <sup>2</sup>	和楽室・洋楽室	39m <sup>2</sup>
	4号展示室	366m <sup>2</sup>	準備室	18m <sup>2</sup>
	収蔵庫	319m <sup>2</sup>	映写室	12m <sup>2</sup>
	収蔵庫前室	26m <sup>2</sup>	機械室	47m <sup>2</sup>
	荷解場	120m <sup>2</sup>	倉 庫	13m <sup>2</sup>
	倉 庫	79m <sup>2</sup>	便 所	34m <sup>2</sup>
	画廊・準備室	137m <sup>2</sup>	ホワイエ	126m <sup>2</sup>
	研修室	135m <sup>2</sup>	休憩室	56m <sup>2</sup>
	事務室	148m <sup>2</sup>	便 所	93m <sup>2</sup>
	写真室・暗室	58m <sup>2</sup>	廊下・階段等	1,114m <sup>2</sup>
	機械室	80m <sup>2</sup>		

## 歳出予算

科 目	予算額(単位千円)	科 目	予算額(単位千円)
(美術館費)			
1. 管理運営費	57,274	4. 企画展費	13,813
管理費	57,144	企画展開催費	12,093
会議及び研修費	130	企画展紹介費	1,720
2. 資料整備費	25,572	5. 常設展費	3,099
資料購入費	20,000	6. 教育普及費	171
資料整理費	5,572	7. 施設整備費	200,278
3. 調査研究費	141	8. 美術館所蔵名品巡回展費	5,078
研究費	76		
調査費	65	計	305,426

## 事業の実施状況

### 1 常設展

#### 第Ⅰ期 百武兼行と白馬会の画家たち

会期：4月1日(土)～4月16日(日)

会場：美術館2号展示室

内容：日本近代洋画の先駆者百武兼行と、1896年(明治29)創設の白馬会の会員である黒田清輝、久米桂一郎、小代為重、岡田三郎助、藤島武二らの作品を展示了。

#### 〈出品目録〉

作 者	題 名	年 代
〈洋画〉		
1 ラファエル・コラン	日だまり	1896(明治29)
2 高木 背水	緑蔭	1911(明治44)
3 リ	静物(花)	1920年代
4 古沢 岩美	裸婦(パレット)	1973(昭和48)
5 リ	アトリエの自画像	1994(平成6)
6 リ	裸婦(右膝を立てる)	1987(昭和62)
7 田原 輝夫	自画像	c.1920(大正9)
8 リ	出漁の前	1939(昭和14)
9 リ	月光	1963(昭和38)
10 リ	残照	1965(昭和40)
11 リ	阿弥陀と観音	1978(昭和53)
12 リ	仁王	1952(昭和27)

#### 〈出品目録〉

作 者	題 名	年 代
1 百武 兼行	耕作	c.1878(明治11)
2 リ	バーナード城 下絵	c.1878(明治11)
3 リ	老婦人像	c.1879(明治12)
4 リ	タンバリンを持つ少女	c.1881(明治14)
5 リ	鍋島直大像	1882(明治15)
6 山本 芳翠	帆船	1903(明治36)
7 小代 為重	少女	1897(明治30)
8 リ	シンガポール	1900(明治33)
9 リ	スエズ運河	1900(明治33)
10 リ	チームズ河畔	1900(明治33)
11 黒田 清輝	画室内	1889(明治22)
12 リ	小代為重像	1897(明治30)
13 久米桂一郎	京都加茂川の景	1893(明治26)
14 リ	子供のいる風景	1894(明治28)
15 リ	残 曙 下絵	1898(明治31)
16 藤島 武二	裸婦	大正時代
17 リ	裸婦	1920年代
18 岡田三郎助	西洋婦人像	1900(明治33)
19 リ	若き娘の顔	1913(大正2)
20 リ	花 野	1917(大正6)
21 リ	涼々園にて	1935(昭和10)
22 リ	伊豆山	1935(昭和10)

#### 平成6年度新収蔵品展

会期：5月3日(金)～6月4日(日)

会場：美術館3号展示室

内容：平成6年度新たに収蔵した作品から21点を紹介した。

#### 〈出品目録〉

作 者	題 名	年 代
〈優秀作品賞上げ〉		
13 諸田 和子	岑參詩(しんしんし)	1994(平成6)
14 今村 堅一	天気図	1994(平成6)
15 下村 康二	叫び	1994(平成6)
16 森田 雅巳	フードをかぶった男	1994(平成6)
17 近藤 吉豊	'HAVE A BITTER EXPERIENCE/Cause and Effect,	1994(平成6)
18 江口 弘樹	夏の日	1994(平成6)
〈工芸〉		
19 石田 英一	鍍金匱物 布袋像	c.1910(明治43)
20 松尾 忠次	彫金手板(1組7枚)	c.1935(昭和10)
21 (大阪)	螺鈿通 亀甲に唐花詰文	明治時代
No.2、3について《緑蔭》が平成5年度、《静物(花)》が平成4年度の受入であるが、画面洗浄などの修復の期間を要したために今回初公開した。		

#### 第Ⅱ期 常設特別展

##### 日本近代洋画の裸体像

##### —百武兼行と裸婦の系譜—

会期：7月7日(金)～7月30日(日)

会場：美術館2・3号展示室

内容：佐賀県出身の洋画家たちは、明治以降、風景画、人物画、風俗画、歴史画、戦争画等々のジャンルにおいて頭著な足跡をきざみ、美術史上印象にのこる作品を生み出した。とくにこれらの作品を通観したときに、ひとつの特色が気付かれる。それは「裸婦像の系譜」ともいえるもので、画家といえば、百武兼行、岡田三郎助、古沢岩美、村岡平蔵へと連なる線である。

今回のテーマ展は、この系譜を基線とし、これに男裸体像を含めた展示をした。

## 〈出品目録〉

作 者	題 名	年 代
1 百武 兼行	臥裸婦	明治14年頃
2 ハ	少女(素描)	明治12年頃
3 岡田三郎助	老人像	明治34年
4 ハ	花野	大正6年
5 ハ	坐裸婦(素描)	大正2年頃
6 ハ	裸婦立像	
7 ハ	裸婦胸像(素描)	昭和11年
8 藤島 武二	裸婦	大正時代
9 ハ	裸婦	1920年代
10 ハ	裸婦(パステル)	
11 山口 亮一	男裸体	明治42年
12 ハ	後向きの裸婦	明治42年
13 ハ	裸婦(素描)	明治38年頃
14 ハ	男裸体(素描)	明治38年頃
15 三根 震郷	裸婦	昭和9年
16 ハ	裸婦坐像	
17 ハ	裸婦立像(横・素描)	明治33年頃
18 ハ	裸婦立像(素描)	明治33年頃
19 ハ	裸婦立像(後・素描)	明治33年頃
20 北島 浅一	裸婦	大正8~10年
21 ハ	立てる裸婦	大正8~11年
22 ハ	肘掛け椅子の裸婦	大正8~11年
23 ハ	ポーズする裸婦	大正8~11年
24 ハ	横たわる裸婦	昭和2年
25 ハ	憩い	昭和時代
26 ハ	裸婦	昭和時代
27 御厨 純一	坐裸婦	大正時代
28 ハ	首飾りをつけた裸婦	昭和3年
29 ハ	裸婦と水差し	昭和3年
30 ハ	手鏡を持つ裸婦	昭和3年
31 ハ	仰向けの裸婦	昭和5年
32 ハ	アトリエのモデル	昭和時代
33 松本 弘二	裸婦(素描)	昭和5年
34 石本 秀雄	首飾りの裸婦	昭和33年
35 ハ	休みのポーズ	昭和34年
36 ハ	裸婦	昭和36年
37 古沢 岩美	肉体	昭和28年
38 ハ	ダナエ	昭和43年
39 ハ	消えゆく街	昭和46年

40	ハ	絵麻糸	昭和58年
41	ハ	裸婦(青)	昭和58年
42	村岡 平蔵	裸婦	昭和47年
43	ハ	風	昭和56年
44	ハ	テラコッタ	昭和56年
45	ハ	裸婦	平成元年
46	ハ	裸婦	平成3年
47	野村 昭嘉	題不詳	昭和61年

No.1は石橋財団石橋美術館、No.37、38、39は鳥栖市教育委員会、No.45、46は小城町教育委員会から借用した。展示期間は7月18日(火)から7月30日(日)。

## 第III期 百武・久米・岡田三人展

会 期：平成8年2月17日(土)～3月24日(日)

会 場：美術館2号展示室

内 容：百武兼行、久米桂一郎、岡田三郎助はいづれも本県の出身であり、日本近代洋画史上大きな足跡を残した。三人とも佐賀藩士の家に生れ、はじめは画家以外の職業に就くことを求められていた。しかし、明治といういわば西欧からの技術習得の時代にあって、かれらは西欧の絵画技術を、実学のひとつとして勉学し、修業することに自らの道を定めた。

百武は、十代藩主鍋島直正の長子直大の御相手役として、終生側近として仕え、かれの絵画制作活動は制約されたものであったようだが、短期間のうちに西欧の伝統的な絵画技法を身につけた。

久米、岡田は相前後してフランスに学び、帰国後は白馬会の創設、東京美術学校教授への就任、文展(文部省美術展覧会)の審査員など日本美術界のアカデミズムの形成において大きな役割を果した。

本展では、当美術館が収集の柱にしているこの三人の画家たちの作品を、寄託作品を含めて紹介した。

## 〈出品目録〉

## 〈百武兼行〉

1	松のある風景	1876(明治9)
2	城のある風景	1876(明治9)
3	馬車のいる風景	c.1877(明治10)
4	耕作	c.1878(明治11)
5	マンドリンを持つ少女	1879(明治12)

6	バグパイプを吹く男	c.1879 (明治12)
7	タンパリンを持つ少女	c.1881 (明治14)
8	ピエトロ・ミッカ図 下絵	1882 (明治15)
9	鍋島直大像	1882 (明治15)
	〈久米桂一郎〉	
10	泊船	1891 (明治24)
11	子供のいる風景	1894 (明治28)
12	残暁 下絵	1898 (明治31)
	〈岡田三郎助〉	
13	中野次郎助像	c.1890 (明治23)
14	矢調べ	1893 (明治26)
15	大磯風景	1894 (明治27)
16	西洋婦人像	1900 (明治33)
17	老人像	1901 (明治34)
18	風景	1902 (明治35)
19	若き娘の顔	1913 (大正2)
20	藤山雷太像	1914 (大正3)
21	中野信陽像	大正時代
22	庭	1919 (大正8)
23	風景	1919 (大正8)
24	ローマの古橋	1930 (昭和5)
25	フローレンス風景	1930 (昭和5)
26	薔薇	1931 (昭和6)
27	涼々園にて	1935 (昭和10)
28	伊豆山	1935 (昭和10)

## 常設特別展

## ベルナール・ビュッフェの銅版画

会期：平成8年2月17日(土)～3月10日(日)

展示室：美術館3号展示室

内容：昭和58年、美術館の開館にあわせてベルナール・ビュッフェ銅版画作品を購入した。「マルドロールの歌」127点、「純粹の探求」21点、「キリストの受難」21点、「人間の声」22点、「日月両世界空想旅行」20点、「ナポリ」14点、「サン・カスト」16点、その他「自画像」、動植物、風景など59点である。ベルナール・ビュッフェ (Bernard Buffet 1928～) はパリに生まれ、15歳でエコール・デ・ボザール (官立美術学校) に入学し、1948年20歳で批評家賞を受賞、1955年には「世界の画家十傑」の第1位に選ばれ、1958年には回顧展が開催された。抽象派に対抗する具象絵画のプリンスとしてもてはやされた画家である。

本展は、上記シリーズから「マルドロールの歌」5点、「キリストの受難」5点、「人間の声」5点、「日月両世界空想旅行」5点、「ナポリ」5点及び自画像の総点数26点を紹介した。

## 工芸 1号B展示室

## 鍋島綾通一もめんの華ー

鍋島綾通を館所蔵品および寄託品の中から選び、5回のシリーズで展示した。

## 第Ⅰ期 鍋島綾通一もめんの華ーシリーズ1

会期：平成7年4月1日(土)～5月21日(日)

会場：美術館1号B展示室

内容：鍋島綾通のシリーズ1として、鍋島家に伝わる由緒正しい作品を展示了。

## 〈出品目録〉

1	鍋島綾通 蟹牡丹唐草文 縁七宝繩に小雷文 江戸～明治前期 一疊物房なし 2枚1組
2	鍋島綾通 萱牡丹文／七宝地 縁二重雷文 江戸～明治前期 一疊物片房 1枚
3	鍋島綾通 牡丹唐草文 縁二重雷文 江戸末～明治前期 二疊物片房 1枚
4	鍋島綾通 牡丹に花菱文 縁二重雷文 明治後期 一疊物片房 1枚
5	鍋島綾通 萱牡丹文 縁二重雷文 明治後期 一疊物片房 1枚
6	鍋島綾通 萱牡丹文 縁二重雷文 明治後期 一疊物片房 1枚
7	鍋島綾通 蟹牡丹文 縁雷文に三筋縞 明治後期 一疊物片房 1枚
8	鍋島綾通 蟹牡丹文 縁二重雷文 明治後期 一疊物片房 1枚
9	鍋島綾通 花杏葉文 縁二重雷文 明治後期 一疊物片房 3枚1組
10	鍋島綾通 萱牡丹唐草文 縁卍繩文 大正時代 一疊物両房 1枚
11	鍋島綾通 亀甲に蝶花文 縁二重雷文 大正時代 一疊物片房 1枚

## 第Ⅱ期 鍋島綾通一もめんの華ーシリーズ2

会期：平成7年5月24日(水)～7月2日(日)

会場：美術館1号B展示室

内 容： 鍋島綾通のシリーズ2として、館所蔵品の中から選び、展示了。  
 〈出品目録〉

1 鍋島綾通 兜牡丹文 緑二重雷文 明治前期	一疊物片房	1枚
2 鍋島綾通 蟹牡丹文 緑二重雷文 明治後期	一疊物片房	2枚1組
3 鍋島綾通 花杏葉文 緑二重雷文 明治後期	二疊物片房	1枚
4 鍋島綾通 芍薺に唐花文 緑二重雷文 明治後期	一疊物片房	1枚
5 鍋島綾通 蟹牡丹唐花文 緑二重雷文 大正時代	一疊物片房	1枚
6 鍋島綾通 蔓牡丹唐草文 緑卍繫文 大正時代	一疊物片房	1枚
7 鍋島綾通 蟹牡丹文 緑二重雷文 大正時代	一疊物片房	1枚
8 鍋島綾通 蟹牡丹文 緑二重雷文 昭和10年頃	一疊物片房	1枚
9 鍋島綾通 蟹牡丹に瑞雲文 緑卍繫文 昭和12・13年頃	三疊半物両房	1枚

### 第III期 鍋島綾通一もめんの華ーシリーズ3

会 期：平成7年7月7日(金)～7月27日(日)

会 場：美術館1号B展示室

内 容： 鍋島綾通のシリーズ3として、館所蔵品の中から選び、展示了。

〈出品目録〉

1 鍋島綾通 花杏葉文 緑二重雷文 明治前期	二疊物片房	2枚1組
2 鍋島綾通 唐草芍薺文 緑二重雷文 明治後期	二疊物片房	1枚
3 鍋島綾通 蟹牡丹文 緑二重雷文 明治後期	一疊物片房	1枚
4 鍋島綾通 蟹牡丹文 緑二重雷文 明治後期	一疊物片房	1枚
5 鍋島綾通 蟹牡丹文 緑二重雷文 明治後期	一疊物片房	1枚
6 鍋島綾通 蔓牡丹唐草文 緑卍繫文 大正時代	一疊物片房	1枚
7 鍋島綾通 亀甲に蝶花文 緑雷文にねじり文 大正時代	一疊物片房	1枚
8 鍋島綾通 蝶に七宝樹文 緑卍繫文 大正時代	一疊物片房	1枚

### 第IV期 鍋島綾通一もめんの華ーシリーズ4

会 期：平成8年1月2日(金)～2月12日(日)

会 場：美術館1号B展示室

内 容： 鍋島綾通のシリーズ4として、館所蔵品の中から選び、堺綾通とともに展示了。

〈出品目録〉

1 鍋島綾通 兜牡丹文 緑二重雷文 明治前期	一疊物片房	1枚
2 鍋島綾通 蟹牡丹文 緑二重雷文 明治後期	一疊物片房	1枚
3 鍋島綾通 芍薺に唐草文 緑二重雷文 明治後期	一疊物片房	1枚
4 鍋島綾通 蟹牡丹文 緑二重雷文 昭和10年代	一疊物片房	1枚
5 堀綾通 蟹牡丹文 緑雷文 年代不詳	一疊物房なし	2枚1組

### 第V期 鍋島綾通一もめんの華ーシリーズ5

会 期：平成8年2月17日(土)～3月24日(日)

会 場：美術館1号B展示室

内 容： 鍋島綾通のシリーズ5として、館所蔵品の中から選び、赤穂綾通とともに展示了。

〈出品目録〉

1 鍋島綾通 花杏葉文 緑二重雷文 明治前期	二疊物片房	2枚1組
2 鍋島綾通 蟹牡丹文 緑二重雷文 明治後期	一疊物片房	2枚1組
3 鍋島綾通 蟹牡丹文 緑二重雷文 明治前～後期	一疊物片房	1枚
4 鍋島綾通 亀甲に蝶花文 緑雷文にねじり文 大正時代	一疊物片房	1枚
5 鍋島綾通 蝶に七宝樹文 緑卍繫文 大正時代	一疊物片房	1枚
6 鍋島綾通 蟹牡丹文 緑二重雷文 昭和10年代	一疊物片房	1枚
7 赤穂綾通 蟹牡丹文 緑二重雷文 昭和前期	一疊物房なし	2枚1組
8 赤穂綾通 利劍文 緑矢羽根文 昭和前期	一疊物房なし	1枚
9 赤穂綾通 蔓牡丹唐草文 緑七宝繫に千切文 昭和前期	一疊物房なし	1枚

## 2 佐賀県立美術館所蔵名品巡回展

名称：「秋の美術館—美と祈りの散歩道—」

会期：平成7年10月27日(金)～11月12日(日)

会期中無休

主催：佐賀県立美術館

共催：祐徳博物館

後援：鹿島市、鹿島市教育委員会、佐賀県博物館協会

会場：祐徳博物館

鹿島市古枝乙1686

観覧料：無料

内容：日本近代洋画の分野から百武兼行、久米桂一郎、岡田三郎助ら本県出身の洋画家の作品を中心に、山口亮一、石本秀雄の作品、さらに彫刻家古賀忠雄の小品及び鹿島市ゆかりの作家として、納富進、岩永京吉、染色家鈴田照次、佐賀錦作家相島正彦らの作品36点を展示了。

図録：仕様 A4版変形 40頁

内容 写真 カラー 10点

モノクロ 26点

エッセイ「日本近代洋画史における佐賀」

「名品巡回展」図録表紙



名称：「冬の美術館—明治、大正、昭和を綴る洋画の名品—」

会期：平成8年2月1日(木)～3月3日(日)

休館日 2月5日、13日、19日、26日、

主催：佐賀県立美術館

共催：佐賀県立名護屋城博物館

後援：鎮西町、肥前町、玄海町、呼子町、鎮西町教育委員会、肥前町教育委員会、玄海町教育委員会、呼子町教育委員会、佐賀県博物館協会

会場：佐賀県立名護屋城博物館

東松浦郡鎮西町大字名護屋1931-3

観覧料：無料

内容：日本近代洋画の分野から百武兼行、久米桂一郎、岡田三郎助ら本県出身の洋画家の作品を中心に、高木背水、北島浅一、御厨純一、松本弘二を代表する画家の作品約28点を展示了。

講演会：日時 2月24日(土)

場所 名護屋城博物館図書閲覧室

講演者 佐賀県立美術館企画普及係長 松本誠一

演題 日本近代洋画と佐賀

図録：仕様 A4版変形 40頁

内容 写真 カラー 8点

モノクロ 21点

エッセイ「日本近代洋画史における佐賀」

「新聞記事にみる百武兼行」

「中野家系譜にみる洋画家たち」

「『ベルツの日記』にみる高木背水」



### 3. 企画展

名 称：昭和をみる—九州の伝統工芸と第30回記念  
西部工芸展—

会 期：平成7年8月5日(土)～8月27日(日)

会 場：美術館2・3・4号展示室

観覧料：大人 大学生

個人 610円 250円

団体 510円 150円

主 旨：九州は古くから工芸が盛んであり、唐津焼、有田焼をはじめとする陶芸や博多織、久留米絣といった染織、さらに漆芸、木竹工、金工など多種多様な工芸が独自の風土と歴史のなかで醸成され、継承されてきた。しかし、近代以降、九州の工芸界は全国的にみたとき、必ずしもその活動が活発であったとはいえないかった。このような状況のもと、昭和25年の文化財保護法の施行、昭和29年の同法改正とともに重要な無形文化財の指定と保持者の認定制度、また同年からはじまった日本伝統工芸展の開催という動きは九州の工芸界にとって大きな活力となり、希望となった。さらに昭和41年には日本工芸会西部支部が発足し、第1回西部工芸展が開催され、今日の九州の工芸界を支える大きな柱の一つになっていった。

本展では、第1部「九州の伝統工芸」として31名の工芸家の作品49点を展示し、こうした九州の工芸家たちの昭和のあゆみを回顧するとともに、第2部として「第30回記念西部工芸展」275点の作品を展示し、九州の伝統工芸の展開の足跡と現状を広く紹介するものである。



展 示 風 景

#### 展示内容：

##### 第1部 九州の伝統工芸

展示作家：12代酒井田柿右衛門（佐賀・陶芸）、12代今泉今右衛門（佐賀・陶芸）、13代酒井田柿右衛門（佐賀・陶芸）、中里無庵（佐賀・陶芸）、初代奥川忠右衛門（佐賀・陶芸）、太田熊雄（福岡・陶芸）、熊谷紅陽（福岡・陶芸）、中村強（長崎・陶芸）、丸田正美（佐賀・陶芸）、棟秋正（佐賀・陶芸）、清家鎮夫（福岡・陶芸）、金城次郎（沖縄・陶芸）、高鶴元（福岡・陶芸）、山内諫（福岡・染織）、小川善三郎（福岡・染織）、松枝玉記（福岡・染織）、初代森山虎雄（福岡・染織）、鈴田照次（佐賀・染織）、相島正彦（佐賀・染織）、屋宜元六（沖縄・染織）、古賀フミ（佐賀・染織）、米光太平（熊本・金工）、高野松山（熊本・漆工）、増村益城（熊本・漆工）、篠島鑑（福岡・漆工）、生野祥雲斎（大分・竹工）、門田二重（大分・竹工）、前野広洋（大分・竹工）、市原華雲斎（大分・竹工）、小島与一（福岡・人形）、鹿児島寿蔵（福岡・人形）

##### 第2部 第30回記念西部工芸展

自由作品の部 一般 184点 正会員 83点

課題作品の部 一般 8点 計 275点

図録：A4版変形 (24.0×25.0センチ)

192頁（オールカラー）

#### 記念講演会

演 題：「九州の伝統工芸を斬る」

講 師：美術評論家 乾 由明先生

日 時：平成7年8月5日(土) 午後2時～4時

会 場：美術館1号A展示室

聴講者：100名

#### 列品解説：

8月6日(日) 江口勝美

（陶芸 日本工芸会西部支部幹事）

8月19日(土) 白木光虎

（金工 日本工芸会西部支部幹事）

8月20日(日) 井上萬二

（陶芸 重要無形文化財保持者、  
日本工芸会西部支部幹事）

8月26日(土) 中村信喬

（人形 日本工芸会西部支部幹事）

8月27日(日) 鈴田滋人

（染織 日本工芸会西部支部幹事）

その他： 展覧会解説ビデオ（約20分）を制作し会期中放映した。

## 4. 普及活動

### (1) 資料の刊行

「九州の伝統工芸と第30回記念西部工芸展」

同名企画展にともない刊行。

A4版変形 (24.0×25.0センチ)

192頁 (オールカラー)

印刷部数 1,000部

\*館報、年報、調査研究書については、博物館を参照。

### (2) 実技講座

内容：石膏デッサン教室

講師：佐賀東高等学校教諭 深川直人先生

会期：平成7年7月17日(月)～21日(金)

(5日間、午後2時～4時)

会場：美術館

受講者：35名

### (3) 研究講座

記念講演会

演題：「九州の伝統工芸を斬る」

講師：美術評論家 乾 由明先生

日時：平成7年8月5日(土) 午後2時～4時

会場：美術館1号A展示室

聴講者：100名

### (4) 館外普及活動

平成7年4月19日～28日 「九州の伝統工芸と第

30回記念西部工芸展」普及

### (5) 映画会

平成7年度夏休み親と子の映画会

期日：平成7年8月5日(土)・6日(日)

## 5. 資料調査（美術館）

### 平成7年

6月1日 企画展「昭和をみる—九州の伝統工芸と第30回記念西部工芸展ー」にともなう調査(福岡県福岡市)

学芸員 宇治 章

6月7日 企画展「昭和をみる—九州の伝統工芸と第30回記念西部工芸展ー」にともなう調査(大分県大分市)

学芸員 宇治 章

6月11・12日 企画展「昭和をみる—九州の伝統工芸と第30回記念西部工芸展ー」にともなう調査(東京都)

学芸員 宇治 章

6月15日 「ホノルル美術館」展にともなう調査(福岡県福岡市)

学芸員 福井 尚寿

7月26日 唐津市河村美術館絵画資料調査(佐賀県唐津市)

学芸員 松本誠一・福井尚寿

### 平成8年

1月16～20日 副島種臣の書調査(山形県・大阪府)

学芸員 福井 尚寿

会場：美術館ホール

上映時間：10時30分～14時55分

上映題目：「アンパンマンとバイキンマン」

「赤毛のアン（ダイアナの誕生日）」

「ニ尔斯のふしぎな旅」

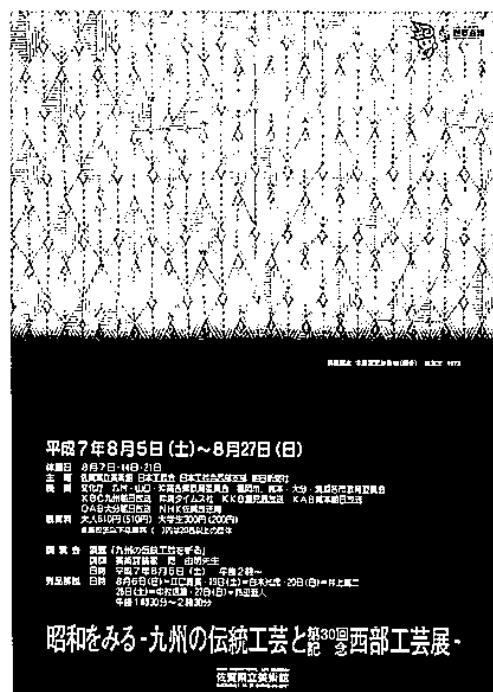
「新・山ねずみロッキーチャック」

「ハイジ（ハイジと牧場）」

「あらいぐまラスカル」

「がんばれ五色桜」

参加者：222名（5日）、262名（6日）



## 6. 美術館観覧状況

### ①美術館主催事業

常 設 展	有 料				無 料			
	個 人		団 体		大 人	大 学	高 校	中・小
	大 人	大 学	大 人	大 学				
佐賀県の歴史と文化	人 3,108	人 134	人 97	人 —	人 842	人 76	人 946	人 789
企 画 展	有 料				無 料			
	個 人		団 体		大 人	大 学	高 校	中・小
	大 人	大 学	大 人	大 学				
昭和をみる一九州の伝統工芸と第30回記念西部工芸展	人 1,083	人 39	人 45	人 —			人 46	人 221
合 計 (常設展+企画展)	4,191	173	142	—	842	76	992	1,010

### ②県関係事業

展 覧 会 名	無 料					
	大 人	大 学	高・中・小	障 害 者	招 待 券	優 待 券
第7回佐賀県高等学校書道展	417	21	847			
第7回佐賀県高等学校文化祭美術・工芸展	533	19	758		10	
第27回佐賀県勤労者美術展	1,203		307			
合 計	2,153	40	1,912		10	

無 料				合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場
障 害	招 待	優 待	その他の					
人 38	人 116	人 30	人 513	人 6,689	日 95	人 70	4／1～3／31 但し、10/2～12/28工事の為休館	

無 料				合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場
障 害	招 待	優 待	その他の					
10	845	185	129	2,603	20	130	8/5～8/27	2、3、4号

48	961	215	642	9,292	115	81		
----	-----	-----	-----	-------	-----	----	--	--

合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場	主 催
1,510	5	302	9/20～9/24	2、3、4号	県 文 化 課
1,320	5	264	9/27～10/1	2、3、4号	県 文 化 課
1,285	5	257	1/24～1/28	画廊 研修室	県労政能力開発課
4,115	15	274			

## ③県関係事業(美術館)〈有料〉

展覧会名	有 料				無 料			
	個 人		團 体		2 番 券		高 校	中・小
	大 人	大 学	大 人	大 学	大 人	大 学		
第45回佐賀県美術展覧会	人 3,979	人 207	人 385	人 102	人	人	人 998	人 891
合 計	3,979	207	385	102			998	891

## ④民間団体主催事業(有料)

展覧会名	有 料									
	個 人				團 体					
	大 人	大 学	高 校	中・小	大 人	大 学	高 校	中・小		
第62回独立展	2,095	1,427		476	39					
日本絵画修復協力企画 一ホノルル美術館名品展一	14,580			高・中	小	203		高・中 小		
				1,010	1,168			813 75		
第18回日展佐賀会場	15,558	646	432	988	172	51	931	202		
合 計	38,380				2,486					

無 料			合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場	主 催
障 害	招 待	優 待						
人	人 1,851	人	人 8,413	日 8	人 1,052	9／9(日)～9／17(日)	1、2、3、4号	佐賀県文化課
	1,851		8,413	8	1,052			

無 料	合 計	開館日数	一日平均	期 間	会 場	主 催
招 待						
1,855	5,892	9	655	4／2(金)～4／30(日)	2、3号	佐賀新聞社
3,502	21,351	37	577	1／2(火)～2／12(月)	2、3、4号	佐賀新聞社
3,698	22,678	21	1,080	3／29(金)～4／21(日)	2、3、4号	西日本新聞社
9,055	49,921					

## ⑤民間団体主催事業〈無料〉

展覧会名	大人 (大学生以上)	子供 (高校生以下)	合計
第11回佐賀水墨画会展	996	55	1,051
泉木の会展	876	43	919
高井琮玄と門下生仏像彫刻展	331	7	338
臯月会展	377	171	548
空中展覧会	502	167	669
A I S 展 III 1995	715	189	904
馬星華中國画会展	616	8	624
火曜日の画家たち展	535	12	547
第12回佐賀県写真協会公募展	1,026	164	1,190
第36回東光会佐賀支部緑光展	739	265	1,004
梧竹、蒼海顕彰 第3回佐賀県書道展(前期)	1,072	136	1,208
〃(後期)	815	246	1,061
第78回佐賀美術協会展	2,503	613	3,116
〃	1,669	626	2,295
へたくそ展	418	156	574
絵画展(金永洙個展)	126	36	162
第8回九州国画会佐賀支部写真展	311	23	334
第37回佐賀大学教育学部美術・工芸科総合展	693	181	874
第23回七夕書道展	585	576	1,161
ペタ展	514	329	843
Femme Vision	264	115	379
FXXX展覧会	214	55	269
書道展	1,090	122	1,212

開館日数	一日平均	期間	会場	主催
日 6	人 175	3／28(火)～4／2(日)	4号	佐賀水墨画会
6	153	3／28(火)～4／2(日)	画・研	泉木の会
4	85	4／13(火)～4／16(日)	画・研	高井 琮玄
6	91	5／2(火)～5／7(日)	画	上淵 玄樹
6	112	5／2(火)～5／7(日)	研	野田香織
6	104	5／9(火)～5／14(日)	画・研	山口 寛
5	181	5／3(火)～5／7(日)	4号	グループSUS
6	91	5／16(火)～5／21(日)	画・研	火曜日の画家たち(北島)
6	198	5／23(木)～5／28(日)	4号	佐賀県写真協会
6	167	5／30(火)～6／4(日)	4号	緑光会
3	403	6／9(金)～6／11(日)	2・3・4号	佐賀新聞社
3	354	6／14(火)～6／16(金)	2・3・4号	佐賀新聞社
10	312	6／22(木)～7／2(日)	2・3・4号	佐賀美術協会
10	230	〃	画・研	佐賀美術協会
6	96	7／4(火)～7／9(日)	画	堀内 賢治
6	27	7／11(火)～7／16(日)	画	金 大栄
6	56	7／11(火)～7／16(日)	4号	九州国画会佐賀支部
6	146	7／18(火)～7／23(日)	4号	佐賀大学教育学部
6	194	7／25(火)～7／30(日)	4号	佐賀県書道教育連盟
6	141	8／1(火)～8／6(日)	画	杉光政実
6	63	8／8(火)～8／13(日)	画	堺 雅子
6	45	8／15(火)～8／20(日)	画	川原 康彦
6	202	8／22(火)～8／27(日)	画・研	米倉信義

展覧会名	大人 (大学生以上)	子供 (高校生以下)	合計
右派浮波(ウハウハ)展	174	59	233
創元会佐賀県支部展	708	178	886
第17回白陽会展	363	18	381
新構造佐賀支部展	453	134	587
さが行動美術展	532	261	793
第11回佐賀県高等学校美術教師作品展	641	285	926
第27回佐賀県勤労者美術展	1,218	292	1,510
県高等学校書道教師作品展 生徒臨書展	621	187	808
縁 '96	163	24	187
アトリエ擅新作展(きもの)	211	25	236
佐賀大学美術部卒展	164	33	197
第40回佐賀大学教育学部美術・工芸科卒業制作展 第2回佐賀大学大学院教育学科研究科	625	112	737
第40回佐賀大学教育学部美術・工芸科卒業制作展	897	124	1,021
第20回黄美会記念展	615	159	774
白水会展	536	59	595
第10回総合美術ハチロク展	1,341	206	1,547
佐賀の子どもたちの版画展	1,076	850	1,926
第20回佐賀県書作家協会展	1,272	152	1,424
土肥春嶽遺墨展			
二紀佐賀支部展	661	91	752
第12回佐賀水墨画会展	1,053	59	1,112
第26回グループ「きしま展」	878	68	946

開館日数	一日平均	期間	会場	主催
日 6	人 39	9／19(火)～9／24(日)	画	三浦 兼護
6	148	9／26(火)～10／1(日)	画・研	森永 繁
6	64	10／31(火)～10／8(日)	画	藤井 健次郎
6	98	10／10(火)～10／15(日)	画	馬場 正義
7	113	1／9(火)～1／15(月)	画・研	下平 武敏
5	185	1／17(水)～1／21(日)	画・研	野田 和弘
5	302	1／24(水)～1／28(日)	画・研	今村 早人
5	161	1／31(水)～2／4(日)	画	山口 三郎
7	31	2／6(火)～2／12(日)	画	吉丸 崇
4	39	2／6(火)～2／9(金)	研	島ノ江 檻
5	39	2／14(水)～2／18(日)	画	杉町 真由美
6	122	2／20(火)～2／25(日)	画・研	宮尾 正隆
6	170	2／20(火)～2／25(日)	4号	宮尾 正隆
6	129	2／27(火)～3／3(日)	4号	平江 潔
6	99	2／27(火)～3／3(日)	画・研	副島 行高
6	258	3／5(火)～3／10(日)	4号	古賀 喜久男
6	321	3／5(火)～3／10(日)	画・研	橋本 聖子
6	285	3／12(火)～3／17(日)	画・研・4号 3号	野中瑛穎
6	125	3／19(火)～3／24(日)	4号	緒方俊昭
6	185	3／19(火)～3／24(日)	画・研	野方翠芳
6	158	3／26(火)～3／31(日)	画・研	大久保 孝夫

## 7. ホール・画廊・研修室利用状況

### ホール

月別	利用団体数	延入場者数	音 楽	演 剧	洋舞・邦舞	映写会	その他	備 考
4	7	2,061	6				1	
5	6	1,618	3	1	1		1	
6	7	2,283	5				2	
7	9	3,711	5			1	3	
8	13	3,313	8	2		1	2	
9	13	2,540	6	5			2	
10	4	1,258	4					10/2～12/27 改修工事のため 臨時休館 (但し、10/8、10/15、 10/27を除く)。
11								
12								
1	11	3,243	7			1	3	
2	11	2,491	8	3				
3	12	3,329	7	3			2	
計	93	25,847	59	14	1	3	16	

### 画廊・研修室

月別	展覧会			そ の 他
	利用団体数	延会期	入場者数	
4	3	15	6,211	
5	4	24	2,388	
6	1	8	1,840	
7	2	14	1,191	
8	4	24	2,703	
9	2	11	859	
10	2	13	1,228	
11	0	0	0	10/16～12/27 改修工事のため、臨時休館
12	0	0	0	
1	3	21	3,301	
2	6	29	2,253	
3	4	27	5,843	
計	31	186	27,817	

# 資料の概要

## 1. 新収蔵（購入・寄贈）資料 日本画

佐賀県立博物館

洋画



1 F-20-2-1

野口謙次郎 NOGUCHI,Kenjirō  
1898~1947  
風景（早春）  
Early spring  
年代不詳  
絹本着色 103.1×129.6  
左下「謙次郎」印  
平成7年度 購入 9686



1 F-20-3-1

小代為重 SHŌDAI,Tameshige  
1861~1951  
郊外風景  
Scene of the outskirts  
昭和初頭  
油彩・カンヴァス 31.9×40.9  
左下「小代為重」  
平成7年度 購入 9688



2 F-20-3-1

中沢弘光 NAKAZAWA,Hiromitsu  
1874~1964  
洋装の女  
Woman in Western style  
1940(昭和15)頃  
油彩・カンヴァス 98.5×33.4  
右下「H.Nakazawa」  
平成7年度 購入 9740



3 F-20-3-1

高木背水 TAKAGI,Haisui  
1877~1943  
玉葱  
Onions  
昭和10年代  
油彩・カンヴァス 49.8×60.4  
左下「背水」  
平成7年度 購入 9687



4 F-20-3-1

北島浅一 KITAJIMA,Asaichi  
1887~1948  
仰向けの裸婦  
Nude,reclining  
昭和初頃  
油彩・キャンヴァス 40.7×53.0  
右下「朝一」印  
平成7年度 購入 9728



5 F-20-3-1

古沢岩美 HURUSAWA,Iwami  
1912~  
火宅の鳴(ねぐら)  
Roost in the fire;Leda  
1948(昭和23)  
油彩・キャンヴァス 100.2×72.9  
左下「Iwami.fu/XXXVIII」  
平成7年度 購入 9744



6 F-20-3-1

古沢岩美 HURUSAWA,Iwami  
1912~  
すたれもの  
Man of no use  
1955(昭和30)  
油彩・キャンヴァス 63.5×45.8  
左下「Iwami.F/LV」  
平成7年度 購入 9745



7 F-20-3-1

古沢岩美 HURUSAWA,Iwami  
1912~  
パロックを孕んだフランマンの魚  
Ray conceived pearls in Flandre  
1959~63(昭和34~38)  
油彩・キャンヴァス 97.3×145.6  
左下「Iwami.f'63~'59」  
平成7年度 購入 9746



8 F-20-3-1

吉武研司 YOSHITAKE,Kenji  
1948~  
肖像—と  
Portrait—and  
1989(平成1)  
油彩・キャンヴァス 182.0×259.3  
左下「Ken」  
平成7年度 購入 9741

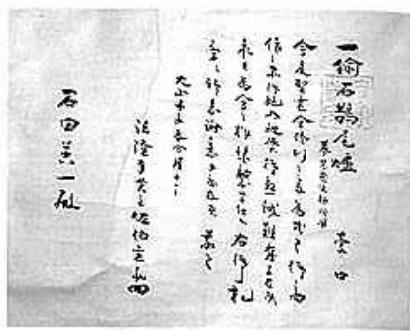


9 F-20-3-1

吉武研司 YOSHITAKE,Kenji  
1948~  
絵日記—はれものにさわるな  
Picture diary—Keep out of danger  
1990(平成2)  
油彩・キャンヴァス 182.0×259.3  
左下「Ken/1990」  
平成7年度 購入 9742



1 F-20-3-2  
古賀忠雄 KOGA,Tadao  
1903~1979  
翼を持つ二人のひと  
Two figures with wings  
年代不詳  
水彩、墨・紙 20.6×32.3  
右端「忠雄」  
平成7年度 寄贈 9664



1 F-40-1  
佐伯定胤 SAEKI,Join  
1866~1952  
「鎌石鶴尾爐」感謝状  
Letter of thanks  
1921(大正10)  
紙本墨書、軸装 37.0×47.2  
石田英一あて感謝状  
平成7年度 寄贈 9748



1 F-10-1

田中恵美子 TANAKA,Emiko  
1946~  
夏柑子(なつこうじ)  
from a poem  
1995(平成7)  
紙本墨書き 230.0×51.7  
左下印  
平成7年度 管理換 9701



2 F-20-1-1

五貫研司 INUKI,Kenji  
1968~  
満ちゆく月に  
For the full moon  
1995(平成7)  
岩絵具・紙 131×163  
平成7年度 管理換 9698



3 F-20-3-1

窪田睦 KUBOTA,Mutsumi  
1972~  
万能な愛  
Almighty love  
1995(平成7)  
アクリル・板 162.0×162.0  
平成7年度 管理換 9699



4 F-30-1

加賀谷健至 KAGAYA,Takeshi  
1963~  
大地の記憶  
Memory of the earth  
1995(平成7)  
木 H199.8  
平成7年度 管理換 9700



5 F-20-0

岡田勝己 OKADA,Katsumi  
1966~  
Computer High School II  
1995(平成7)  
デザイン 103.0×145.5  
平成7年度 管理換 9703



6 F-20-5

七田秀彦 SHICHIDA,Hidehiko  
1954~  
ゆかいな家族  
Joyful family  
1995(平成7)  
写真 36.0×53.7  
平成7年度 管理換 9702

## 資料の概要

### 2. 寄託資料

資料名	数量	寄託者
百武兼行 油彩画「松のある風景」	1	佐賀市個人
百武兼行 油彩画「ピエトロ・ミッカ図下絵」	1	〃
百武兼行 油彩画「バグパイプを吹く男」	1	〃
百武兼行 素描「虎図」	1	〃
百武兼行 素描「城と樹木」	1	〃
百武兼行 素描「馬と山羊」	1	〃
百武兼行自筆詩歌集	1	〃
百武兼行短冊等	1	〃
百武関係資料 石版画	16	〃
百武関係資料 植物図	12	〃
百武関係資料 履歴類	4	〃
百武関係資料 素描類	13	〃
百武関係資料 大理石碑	1	〃

## 資料貸出状況

資料名	貸出先・目的	貸出期間
立石春美「早乙女」ほか 28点	唐津市近代図書館「西虹会の画家たち」展	H 7. 7. 5~8. 1
松本弘二「ル・バザール」 1点	関産経新聞大阪本社事業部「二科回顧」展	H 7. 8. 22~11. 10
窪田 陸「万能な愛」 1点	窪田 陸・「安井賞」展出品	H 7. 12. 1~H 8. 1. 15
副島種臣「客中示人」詩ほか 14点	毎日新聞社事業本部・特別陳列「副島種臣の書」	H 8. 1. 10~1. 30
三塙清巳「道化師」、「サーカスの二人」ほか 3点	唐津市近代図書館「三塙清巳」展	H 8. 1. 29~3. 1
牛丸和人「問わず語り」、「輪廻の回廊」 2点	久留米岩田尾「牛丸和人洋画展」	H 8. 3. 6~3. 11

## 購入図書

図書名	発行所
中国絵画史 下(明)	吉川弘文館
絵は語る	平凡社

## 博物館・美術館職員名簿(平成8年4月1日現在)

課名	職名	氏名	課名	職名	氏名
館長	深川 弘一		学芸課長	中牟田 賢治	
副館長	森 醇一朗		資料係長 (学芸員)	蒲原 宏行	
総務課長 (庶務管理係長事務取扱)	大園 進		主査 (学芸員)	山崎 和文	
専門員	一丸 正美		主事	中原 正登	
庶務管理係	主査	古賀 夕ミ子	主事	野中 耕介	
	主査	園田 正伸	非常勤嘱託	今川 泰靖	
	主事	石橋 邦広	企画普及係長 (学芸員)	松本 誠一	
	技術員	近藤 誠徃	主査 (学芸員)	宇治 章	
	事務員	小石 武彦	主事 (学芸員)	本多 美穂	
			主事 (学芸員)	竹下 正博	
					計 19名

佐賀県立博物館 年報 第26号  
佐賀県立美術館

発行年月日 平成8年7月31日

編集・発行 〒840 佐賀市城内1-15-23

Tel.0952-24-3947

佐賀県立博物館  
佐賀県立美術館

印 刷 佐 賀 印 刷 社

〒840 佐賀市高木瀬西6-11-7

Tel.0952-31-6171